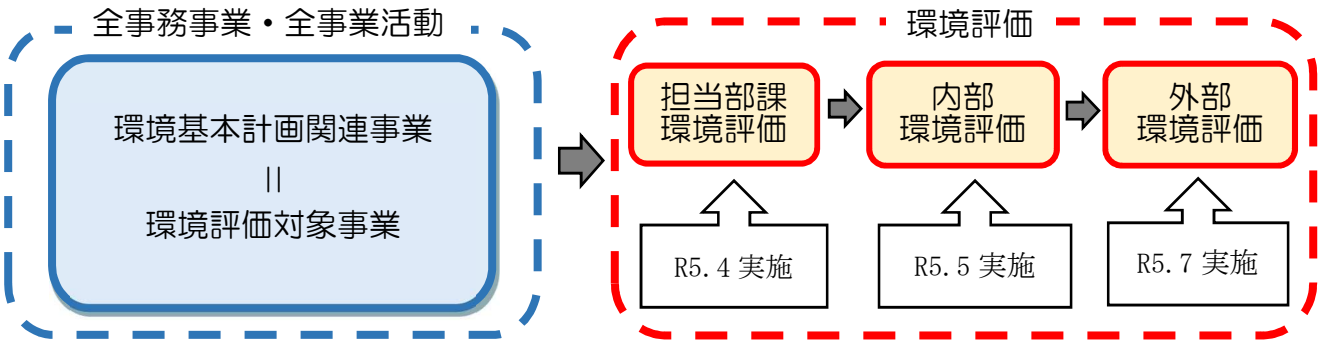
資料１

海老名環境マネジメントシステムにおける外部環境評価の実施結果について

海老名環境マネジメントシステム（ＥＭＳ）における取組みとして、令和４年度事業を対象に実施した環境評価の結果を別添の「環境評価結果報告書」として取りまとめましたので、概要を以下のとおり報告します。

１　環境評価の概要

ＥＭＳでは海老名市第三次環境基本計画に設定した目標指標及び個別指標の達成に向けて実施する事務事業を環境基本計画関連事業と定め、環境評価対象事業として進行管理を行っています。環境評価対象事業については事業所管課において調書を作成し、事業が環境に与える負荷を最小限なものとなるよう努めています。なお、環境評価は原則として当該調書を基に実施しました。



２　環境評価の実施結果

環境評価対象事業は９つの目標指標に係る施策の方針と目標指標の実現に向けた 29 の個別指標に係る事業があり、担当部課環境評価及び内部環境評価については 29 の事業ごとに、外部環境評価は９つの施策ごとに、４段階の基準に基づいて評価を行いました。

環境評価基準	担当部課 環境評価	内部 環境評価	外部 環境評価
４：計画を上回る環境配慮を実施できた。	４事業	３事業	１施策
３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	23事業	24事業	６施策
２：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	２事業	２事業	２施策
１：ほとんど計画通りの環境配慮を実施できなかった。	０事業	０事業	０施策

一部計画通りの環境配慮を実施できなかったと評価された施策や事業があるものの、全体的には、概ね計画通りの環境配慮が実施できているとの評価となりました。

３　外部環境評価における主な意見

外部環境評価を実施する中で、海老名環境マネジメントシステム専門部会委員の皆様から多くのご意見をいただきました。体系ごとの評価を踏まえた総括的な意見の概要は次のとおりです。

①取組み活動

温室効果ガス排出量や事業系ごみ排出量などすぐに成果が難しい活動は、諦めず地道で粘り強い活動が今後も必要です。

生ごみ処理機普及、コミュニティバス利用、えびなクリーン作戦、子供たちの「遊びのひろば」の活動は、市民に密着し市民参加の成果に繋がっています。

②目標設定

個別目標に向かった各担当部課の活動は、真摯で真面目な取り組み姿勢が見られ、成果も上がっています。

ただ、上位目標（施策方針の目標指標）とのつながりがなく個別目標の成果が上位目標の成果に繋がっていない項目が見られ、今後目標設定での見直しなどで検討が望まれます。

③全体

実際の取組みについては、その結果がもたらされる市民への影響は非常に大きいものがあるため、今回の評価を通じて、引き続き各担当部課等の取組みについて、さらに改善等に努めていただきますようお願いします。

４　今後の取扱い

評価結果及び意見については、庁内に展開して、さらなる改善に努めてまいります。

また、市の環境に関する取組みをまとめた冊子である「えびな環境白書」に掲載して、公表することにより、市の取組み状況を市民等に周知してまいります。

海老名環境マネジメントシステム
環境評価

令和４年度実施事業
環境評価結果報告書

令和５年１０月

経済環境部　環境政策課

目　次

１　海老名環境マネジメントシステムについて・・・・・・・・・・・・・・・１

２　ＥＭＳの主な取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

３　環境評価の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

４　環境評価の実施体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

５　環境評価の実施結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

６　外部環境評価の結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

７　環境評価結果の活用及び公表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

海老名環境マネジメントシステム令和４年度実施事業環境評価結果

１　海老名環境マネジメントシステムについて

本市では、平成13年度に環境に関する国際規格のＩＳＯ14001の認証を取得し、ＰＤＣＡサイクルに基づく業務改善と環境負荷の軽減に努めてまいりました。認証取得後15年が経過し、市職員には環境負荷軽減に対する意識が浸透し、また、ＰＤＣＡサイクルに基づき事業へ取り組む姿勢を培うことができました。

こうした中、これまでのＩＳＯ14001における取組を踏まえつつ、より効率的で効果的な環境配慮活動を推進するため、市独自のマネジメントシステムである「海老名環境マネジメントシステム（ＥＭＳ）」を新たに構築し、平成29年４月より運用しています。

２　ＥＭＳの主な取り組み

ＥＭＳでは、「全ての事務事業・事業活動における環境配慮の日常化」と「環境法令等の順守の徹底」に向けてし、以下の取組を実施しております。

ア　環境基本計画の推進
イ　地球温暖化対策実行計画の推進
ウ　環境法令等の順守
エ　職員への研修

＜ＥＭＳの体系図＞

３　環境評価の概要

海老名市第三次環境基本計画に設定した目標指標及び個別指標の達成に向けて実施する事務事業を環境基本計画関連事業と定め、環境評価対象事業として進行管理を行っています。各事業の所管課では、環境評価対象事業について調書を作成し、その調書に基づいて環境基本計画の進行管理を実施しています。各事業の推進状況は、事業を実施した翌年度に環境評価を実施し、継続的な改善に努めていきます。

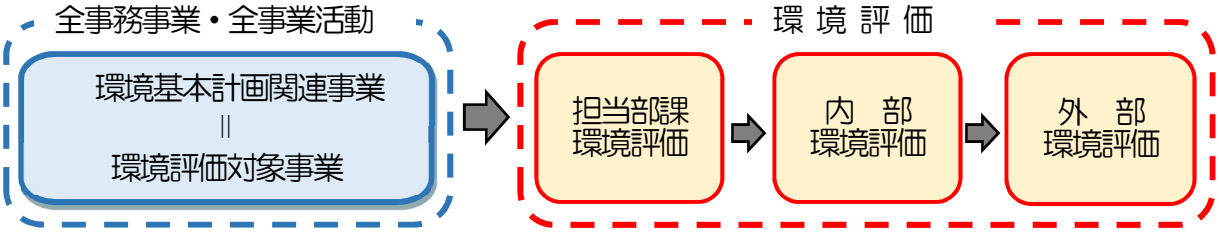
４　環境評価の実施体制

環境評価は、所管課による担当部課環境評価、内部環境評価委員による内部環境評価、海老名市環境審議会海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部環境評価の３段階で実施します。

＜段階別評価の概要＞

①　担当部課評価	
対象	環境評価対象事業
実施概要	前年度に実施した環境評価対象事業の取り組み状況を自己評価する。
評価者	事業の所管課等
②　内部環境評価	
対象	担当部課評価実施後の環境評価対象事業
実施概要	担当部課環境評価を受け、環境評価対象事業の取り組み状況を評価する。
評価者	内部環境評価委員（内部環境監査委員）
③　外部環境評価	
対象	内部環境評価実施後の環境評価対象事業
実施概要	内部環境評価を受け、環境評価対象事業の取り組み状況を評価する。
評価者	外部環境評価委員（環境審議会ＥＭＳ専門部会委員）

＜環境評価のイメージ＞



５　環境評価の実施結果

令和４年度に実施された環境評価対象事業は９つの目標指標に係る施策の方針と目標指標の実現に向けた29の個別指標に係る事業です。担当部課評価及び内部環境評価については事業ごとに、外部環境評価は施策の方針ごとに、４段階の基準により評価しました。

＜環境評価の実施時期＞

担当部課評価	令和５年４月
内部環境評価	令和５年５月
外部環境評価	令和５年７月

＜環境評価基準別の評価結果＞

環境評価基準	担当部課 環境評価	内　部 環境評価	外　部 環境評価
４：計画を上回る環境配慮を実施できた	４事業	３事業	１施策
３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた	23事業	24事業	６施策
２：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった	２事業	２事業	２施策
１：ほとんど計画通りの環境配慮を実施できなかった	０事業	０事業	０施策

６　外部環境評価の結果

外部環境評価では、一部計画通りの環境配慮を実施できなかったと評価された体系や事業があるものの、全体としては、概ね計画通りの環境配慮が実施できているとの評価となりました。

＜外部評価の総括意見＞

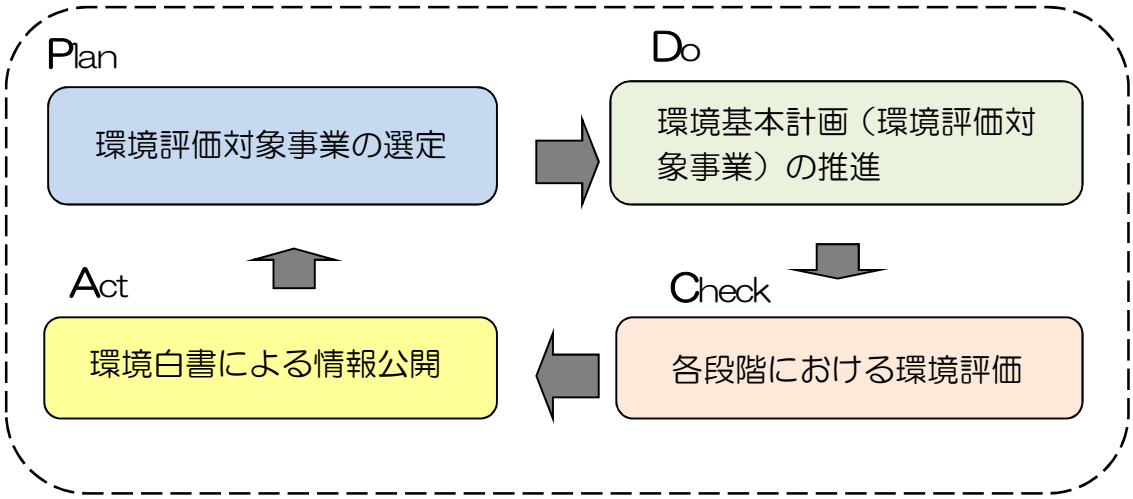
①　取組み活動
温室効果ガス排出量や事業系ごみ排出量などすぐに成果が難しい活動は、諦めず地道で粘り強い活動が今後も必要です。 生ごみ処理機普及、コミュニティバス利用、えびなクリーン作戦、子供たちの「遊びのひろば」の活動は、市民に密着し市民参加の成果に繋がっています。
②　目標設定
個別目標に向かった各担当部課の活動は、真摯で真面目な取り組み姿勢が見られ、成果も上がっています。 ただ、上位目標（施策方針の目標指標）とのつながりがなく個別目標の成果が上位目標の成果に繋がっていない項目が見られ、今後目標設定での見直しなどで検討が望まれます。
③　全体
実際の取組みについては、その結果がもたらされる市民への影響は非常に大きいものがあるため、今回の評価を通じて、引き続き各担当部課等の取組みについて、さらに改善等に努めていただきますようお願いします。

7　環境評価結果の活用及び公表

環境評価の結果及び意見については、市職員に展開し、事務事業の改善を促すことで、全庁的な環境配慮をさらに向上するためのツールとして活用していきます。

また、毎年、市で取りまとめている「環境白書」に環境評価結果及び意見を掲載し、ホームページ等を通じて市民に公表することで、市で行っている環境配慮活動を周知するとともに、市民の環境配慮への意識の醸成を図ります。

＜ＥＭＳ環境評価のPDCAサイクル＞



海老名環境マネジメントシステム
令和４年度実施事業
環境評価結果

環境評価対象事業環境評価調書
（令和４年度実施事業）

施策	事業	ページ
１－１ 地球温暖化対策を推進します	市の事務事業における温室効果ガス排出量	1～6
	個人住宅用太陽光発電導入状況（補助制度累計 kw 数）	
	エネファーム導入状況（補助制度累計台数）	
	低公害車の導入状況（補助制度累計台数）	
１－２ 循環型社会を形成します	リサイクル率	7～12
	事業系ごみ排出量	
	市庁舎におけるごみ排出量	
	生ごみ処理機の普及率（補助制度実績）	
１－３ 緑・水・生きものと共生します	自然緑地保全区域面積・樹木数	13～17
	緑化に関する情報の発信回数	
	生物多様性に関する情報の発信回数	
２－１ 水環境を守ります	水洗化率	18～22
	公共下水道の普及率	
	水循環に関する情報の発信回数	
２－２ 生活環境を守ります	大気環境基準達成状況	23～27
	コミュニティバス利用者数	
	騒音に関する相談件数	
３－１ 都市環境を整備します	道路整備への満足度（市政アンケート：幹線・生活道路の整備に満足・やや満足と回答した人の割合）	28～32
	美化推進員のポイ捨て、路上喫煙巡回日数	
	えびなクリーン作戦参加者累計数	
３－２ 農業地を守ります	農作業受委託面積	33～37
	市民農園利用者数	
	農業体験イベント参加者数	
３－３ 地域資源を守ります	郷土資料館・歴史資料収蔵館来館者数	38～41
	歴史関連イベント・講座参加者数	
４－１ 環境を考え、行動します	環境関連情報発信回数	42～47
	啓発・出前講座参加者数	
	海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数	
	海老名市地域緑化事業への登録団体数	

【令和５年度評価】外部評価シート（令和４年度分）				
基本方針			施策の方針	
１　地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます			１　地球温暖化対策を推進します	
目標指標			令和４年度実績	
（現状値（年度））	（目標値（年度））			
市域からの温室効果ガス排出量			879千t-CO2（Ｒ２年度実績）	
１，０５５千t-CO2（平成２８年度）	７９４千t-CO2（令和１１年度）			
個別指標	担当部課評価	内部評価	目標指標進捗に関する所管課コメント	
市の事務事業における温室効果ガス排出量	3	3	コロナ禍で厳しい制約がある中で、可能な範囲での取組みに努め、公共施設におけるエネルギー使用量の削減や環境配慮活動への呼びかけ、省エネ設備の導入が図られ、ＣＯ２排出量の削減に向けての意識向上が感じられる。	
個人住宅用太陽光発電導入状況	3	3	コロナ禍で十分とは言えないまでも、可能な範囲で周知啓発を図った結果、目標には至らなかったものの、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断した。	
エネファーム導入状況	3	3	コロナ禍で十分とは言えないまでも、イベント等の周知が十分に行えなかった中で、可能な範囲で周知啓発を図れた。目標には至らなかったものの、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断した。	
低公害車の導入状況	4	4	イベント等の周知が行えたこともあり、可能な範囲で周知啓発を図った結果、目標値を大幅に上回ることができたと判断した。	
外部評価				
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			
判断理由及び評価内容				
国の目標に準拠し、基準年度に対し40%のCO２削減を目標に掲げています。コロナ化で、活動が制限された中、太陽光発電、エネファーム、低公害車に対する補助金を積極的に進め、各施策の実績が目標年度に対し61%～79%の高い達成率です。なかなか、施策＝結果に結びつきにくい部分もありますが地道にPR活動も実施してきており結果として、おおむね計画通りの実績を残せたと判断し、評価「３」とします				

令和5年度評価　環境管理計画・環境評価調書（令和4年度分）				事業コード	1 — 1 — a
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係

個別指標の内容	現状値（年度）	目標値（目標年度）
市の事務事業における温室効果ガス排出量	11,077t-CO2(H28/2016)	6,900t-CO2　（ R11/2029 ）

計画体系上の位置付け		
	基本方針	1　地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます
	施策の方針	1－1地球温暖化対策を推進します
	関連する目標指標	市域からの温室効果ガス排出量

令和４年度事務事業　環境管理計画

主な取組の概要	目標値への達成見込	予算額
海老名市地球温暖化対策実行計画に基づいて、公共施設への省エネ性能の高い設備の導入や運用改善の推進を図るとともに、施設管理者や利用者の省エネ意識啓発に取組みます。	9,150t-CO2 (1,927t-CO2削減) 達成率：　75.4%	—　千円

前年度事務事業の実施により発見した課題等

市の事務事業による温室効果ガス排出量が、コロナ禍によりどの程度影響を受けているのか判別できないため、市の取組みがどの程度排出量削減に繋がったか見極めが困難。

令和4年度事務事業に係る環境影響

有益影響	有害影響
・地球温暖化の抑制	・省エネ工事による廃棄物の増加

想定されるコミュニケーション	コミュニケーションへの対応
・温室効果ガス削減に関する相談	・省エネの情報収集及び提供

令和４年度事務事業　実施結果

	主な取組結果の概要	目標値達成実績
令和2年度	・環境マネジメントシステムに基づく職員研修や環境配慮取組状況の確認等を通じて省エネに対する意識向上に努めました。 ・公共施設におけるエネルギー使用量の削減や環境配慮活動の呼びかけを行うと同時に、取組状況の把握に努めました。	9,371t-CO2（概算） (1,706t-CO2削減) 達成率：73.6%
令和3年度	・環境マネジメントシステムに基づく職員研修や環境配慮取組状況の確認等を通じて省エネに対する意識向上に努めました。 ・公共施設におけるエネルギー使用量の削減や環境配慮活動の呼びかけを行うと同時に、取組状況の把握に努めました。 ・防犯灯のＬＥＤ化等、可能な範囲での省エネ設備の導入が図られました。	9,852t-CO2（概算） (1,225t-CO2削減) 達成率：70.0%
令和4年度	・環境マネジメントシステムに基づく職員研修や環境配慮取組状況の確認等を通じて省エネに対する意識向上に努めました。 ・公共施設におけるエネルギー使用量の削減や環境配慮活動の呼びかけを行うと同時に、取組状況の把握に努めました。 ・本庁舎（一部）のＬＥＤ化等、可能な範囲での省エネ設備の導入が図られました。	9,825t-CO2 (1252t-CO2削減) 達成率：70.2%

令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等

変更点	なし
課題等	公共施設の利用時間が伸びたこと等を要因としてＣＯ２排出量が増加しているため、更なる削減策について検討する必要があります。

令和４年度事務事業　環境評価

評価区分	評価	判断理由及び内容
担当部課環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	依然、コロナ禍で厳しい制約がある中で、可能な範囲での取組みに努めました。公共施設におけるエネルギー使用量の削減や環境配慮活動への呼びかけ、省エネ設備の導入が図られ、ＣＯ２排出量の削減に向けての意識向上が感じられる。
内部環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。 コロナ禍で厳しい制約がある中でも、自分たちが実施できることを行い、CO2排出量の削減に向けて省エネ意識啓発に取組まれたことを評価いたします。今後も、本庁舎のLED化など省エネ設備の導入を順次行い、目標達成となることを期待します。

令和5年度評価　環境管理計画・環境評価調書（令和4年度分）				事業コード	1 — 1 — b
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係

個別指標の内容	現状値（年度）	目標値（目標年度）
個人住宅用太陽光発電導入状況（補助制度累計kw数）	8,649kw(H30/2018)	13,000kw　（ R11/2029 ）

計画体系上の位置付け		
	基本方針	1　地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます
	施策の方針	1－1地球温暖化対策を推進します
	関連する目標指標	市域からの温室効果ガス排出量

令和４年度事務事業　環境管理計画

主な取組の概要	目標値への達成見込	予算額
市民のライフスタイルや環境に配慮する意識と省エネ効果を高めるため、海老名市内に太陽光発電施設を設置した方に対し、経費の一部を発電能力に応じて補助。	10570kw 達成率：　81.3%	9,900　千円

前年度事務事業の実施により発見した課題等

令和2年度と比較し件数は１件減少したが、総出力は上回り、順調に導入が進んでいると考えられる。

令和4年度事務事業に係る環境影響

有益影響	有害影響
・市民及び事業者における省エネの推進 ・市域のエネルギー使用量削減	・再エネ設備導入工事による廃棄物の増加

想定されるコミュニケーション	コミュニケーションへの対応
・補助内容に関する意見・要望	・補助内容の見直し

令和４年度事務事業　実施結果

主な取組結果の概要		目標値達成実績
令和2年度	太陽光発電施設への補助実績 件　数：77件　補助額：8,332,000円　総出力：431.19kW（R1　503.90kW） 取組実績 ・住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布 ・駅間自由通路にデジタルポスターを掲載　・開発事業者への事前の要望 ・前年度補助金申請者に対し、アンケート調査を実施	9588kw 達成率：73.8%
令和3年度	太陽光発電施設への補助実績 件　数：76件　補助額：9,226,000円　総出力：491.23kW 取組実績 ・住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布 ・駅間自由通路にデジタルポスターを掲載　・開発事業者への事前の要望 ・申請手続きを代行するハウスメーカー等への早期申請の促進	10079kw 達成率：77.5%
令和4年度	太陽光発電施設への補助実績 件　数：44件　補助額：5,506,000円　総出力：290.35kw 取組実績 ・住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布 ・開発事業者への事前の要望 ・申請手続きを代行するハウスメーカー等への早期申請の促進	10369kw 達成率：79.8%

令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等

変更点	押印制度の見直しを踏まえて、申請書類の大半について押印不要とし、申請手続きの簡素化を図りました。
課題等	市域内のＣＯ２削減に向けて重要な施策であるため、さらなる普及策について検討します。

令和４年度事務事業　環境評価

評価区分	評価	判断理由及び内容
担当部課環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	新型コロナウイルス感染症の影響で、イベント等の周知が十分に行えなかったが、可能な範囲で周知啓発を図った結果、目標には至らなかったものの、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断します。
内部環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響でイベント等の機会に恵まれない中、概ね計画通りの環境配慮を実施できたことは、日常的な周知啓発の賜物であると判断します。今後もさらに推進できるよう普及策の検討を重ねられることを期待します。

令和5年度評価　環境管理計画・環境評価調書（令和4年度分）				事業コード	1 — 1 — c
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係

個別指標の内容	現状値（年度）	目標値（目標年度）
エネファーム導入状況（補助制度累計台数）	210台（H30/2018）	430台　（ R11/2029 ）

計画体系上の位置付け		
	基本方針	1　地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます
	施策の方針	1－1地球温暖化対策を推進します
	関連する目標指標	市域からの温室効果ガス排出量

令和４年度事務事業　環境管理計画

主な取組の概要	目標値への達成見込	予算額
市民のライフスタイルや環境に配慮する意識と省エネ効果を高めるため、海老名市内にエネファームを設置した方に対し、経費の一部を補助。	273台 達成率：　63.4%	900　千円

前年度事務事業の実施により発見した課題等

国がエネファームの導入支援制度を終了したため、件数の実績はあるものの、今後市としても当該施設導入の補助金について検討が必要であると考える。

令和4年度事務事業に係る環境影響

有益影響	有害影響
・市民及び事業者における省エネの推進 ・市域のエネルギー使用量削減	・再エネ設備導入工事による廃棄物の増加

想定されるコミュニケーション	コミュニケーションへの対応
・補助内容に関する意見・要望	・補助内容の見直し

令和４年度事務事業　実施結果

主な取組結果の概要		目標値達成実績
令和2年度	エネファームへの補助実績 ・件　数　15件 ・補助額　900,000円 取組実績 ・住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布 ・駅間自由通路にデジタルポスターを掲載 ・開発事業者への事前の要望 ・前年度補助金申請者に対し、アンケート調査を実施	249台 達成率：57.9%
令和3年度	エネファームへの補助実績 ・件　数　12件 ・補助額　720,000円 取組実績 ・住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布 ・駅間自由通路にデジタルポスターを掲載 ・開発事業者への事前の要望 ・申請手続きを代行するハウスメーカー等への早期申請の促進	261台 達成率：60.7%
令和4年度	エネファームへの補助実績 ・件　数　4件 ・補助額　240,000円 取組実績 ・住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布 ・開発事業者への事前の要望 ・申請手続きを代行するハウスメーカー等への早期申請の促進	265台 達成率：61.6%

令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等

変更点	押印制度の見直しを踏まえて、申請書類の大半について押印不要とし、申請手続きの簡素化を図りました。
課題等	市域内のＣＯ２削減に向けて重要な施策であるため、さらなる普及策について検討します。

令和４年度事務事業　環境評価

評価区分	評価	判断理由及び内容
担当部課環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、イベント等の周知が十分に行えなかった中で、可能な範囲で周知啓発を図れた。目標値に及ばなかったが、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断します。
内部環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価を支持します。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で周知啓発が限られている中、普及策を検討し、ね計画通りの環境配慮を実施できたと評価します。今後は啓発活動も従前どおりできることとなると思いますので、目標値を達成できることを期待しています。

令和5年度評価　環境管理計画・環境評価調書（令和4年度分）				事業コード	1 — 1 — d
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係

個別指標の内容	現状値（年度）	目標値（目標年度）
低公害車の導入状況（補助制度累計台数）	170台（H30/2018）	500台　（ R11/2029 ）

計画体系上の位置付け		
	基本方針	1　地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます
	施策の方針	1－1地球温暖化対策を推進します
	関連する目標指標	市域からの温室効果ガス排出量

令和４年度事務事業　環境管理計画

主な取組の概要	目標値への達成見込	予算額
市民のライフスタイルや環境に配慮する意識と省エネ効果を高めるため、海老名市内で、新規に対象の低公害車を導入された方に対し、費用の一部を補助。	243台 達成率：　48.6%	3,800　千円

前年度事務事業の実施により発見した課題等

電気自動車の件数は令和2年度と同じであるものの、年々電気自動車の需要が高まっていると感じる。

令和4年度事務事業に係る環境影響

有益影響	有害影響
・市民及び事業者における省エネの推進 ・市域のエネルギー使用量削減	・低公害車の製造による廃棄物の増加

想定されるコミュニケーション	コミュニケーションへの対応
・補助内容に関する意見・要望	・補助内容の見直し

令和４年度事務事業　実施結果

主な取組結果の概要		目標値達成実績
令和2年度	低公害車への補助実績 ・件　数　17件（電気自動車15件、燃料電池自動車２件） ・補助額　3,050,000円 取組実績 ・住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布 ・駅間自由通路にデジタルポスターを掲載 ・前年度補助金申請者に対し、アンケート調査を実施	209台 達成率：41.8%
令和3年度	低公害車への補助実績 ・件　数　17件（電気自動車13件、燃料電池自動車４件） ・補助額　3,550,000円 取組実績 ・住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布 ・駅間自由通路にデジタルポスターを掲載	226台 達成率：45.2%
令和4年度	低公害車への補助実績 ・件　数　79件（電気自動車 79件、燃料電池自動車0件） ・補助額　11,850,000円 取組実績 ・住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布 ・駅間自由通路にデジタルポスターを掲載	305台 達成率：61%

令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等

変更点	押印制度の見直しを踏まえて、申請書類の大半について押印不要とし、申請手続きの簡素化を図りました。
課題等	電気自動車のさらなる普及に向け、民間による充電設備の設置促進策について検討します。

令和４年度事務事業　環境評価

評価区分	評価	判断理由及び内容
担当部課環境評価	４：計画を上回る環境配慮を実施できた。	イベント等の周知が行えたこともあり、可能な範囲で周知啓発を図った結果、目標値を大幅に上回ることができたと判断します。
内部環境評価	４：計画を上回る環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価を支持します。 啓発活動等により前年度実績を大幅に上回ることができたことは評価します。 今後の更なる取組に期待します。

【令和５年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート（令和４年度分）	
目標指標 （目標値（年度））	令和４年度実績
市域からの温室効果ガス排出量 （７９４千t-CO2（令和11年度））	879千t-CO2（Ｒ２年度実績）

〇上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。

〇記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。

〇記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。

〇海老名ＳＤＧｓ環境マイレージ事業や環境展を通じて、日常における省エネの取組みを促し、市域内における温室効果ガス削減への意識啓発を行いました。

〇電気自動車用急速充電器（市庁舎）を運用することで、電気自動車ユーザーの利便性を図りました。

〇環境保全対策支援事業において、環境基本計画の目標に掲げる設備以外にも、定置用リチウムイオン蓄電池やＨＥＭＳの導入補助を行い、市域内の温室効果ガス削減を推進しました。

〇ウオームビズや省エネ月間の広報記事掲載を通じて、市民への省エネ意識啓発を図りました。

令和４年度事業外部評価シート				
基本方針			施策の方針	
１　地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます			２　循環型社会を形成します	
目標指標			令和４年度実績	
（現状値（年度））	（目標値（年度））			
一人１日あたりごみ排出量（家庭系の可燃・資源）			５５１ｇ	
６５０g（平成２８年度）	６５０g（令和９年度）			
個別指標	担当部課評価	内部評価	目標指標進捗に関する所管課コメント	
リサイクル率	3	3	昨年度と比較すると割合は減少しているものの、レジ袋の有料化や企業等による脱プラの動きがさらに促進されており、プラスチックが家庭から排出される機会が減少傾向にあることが、リサイクル率減少の一因になっていると考える。	
事業系ごみ排出量	2	2	訪問指導などの対面指導対応の件数を増やすことができた。また、市内事業者へのごみ減量化支援で生ごみ処理機の貸出しを開始したが、コロナの感染拡大が落ち着き、経済活動が回復したことにより、事業系ごみ量が増加しているため、一部計画通りの環境配慮を実施できなかったと考える。	
市庁舎におけるごみ排出量	3	3	庁舎から排出される排出物の減量化、分別徹底により高い資源化率を維持し、環境配慮への取り組みを概ね実施することができた。しかしながら、ごみの排出量は増加傾向にあったため、実態把握を行い、目標達成に努める。	
生ごみ処理機の普及率（補助制度実績）	3	3	継続して行っていた啓発に加えて、新型コロナウイルス実施できていなかったコミセン祭りでの啓発を再開できたことや、情勢に合わせて生ごみ処理機の制度を改正することができたため、おおむね計画通りの環境配慮を実施できたと考える。	
外部評価				
2	一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。			
判断理由及び評価内容				
１．「リサイクル率」の減少傾向は新たな資源物の分別処理検討や資源物の混入の啓発などに今後期待しています。（評価３） ２．「事業系ごみ排出量」の削減活動で事業者ごとのゴミ種類の異なる事を踏まえた対策指導の工夫など活動に対する改善姿勢が弱い。（評価２） ３．「市庁舎におけるごみ排出量」の活動では新採用の教育や分別の徹底など従来の活動にとどまり新たな削減対策の発案やデータ分析からの改善活動などの意欲が感じられない。（評価２） ４．「生ごみ処理機設置費補助制度の普及率」では今後の活動の課題も明確でなく、普及率向上にどのように取り組むか見えません。（評価３） 上記1～４の結果、総合的に評価２と判断します。				

令和5年度評価　環境管理計画・環境評価調書（令和4年度分）				事業コード	1 — 2 — a
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	廃棄物政策係

個別指標の内容	現状値（年度）	目標値（目標年度）
リサイクル率	31.4%（H28/2016）	40%　（ R11/2029 ）

計画体系上の位置付け		
	基本方針	１　地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます
	施策の方針	１－２循環型社会を形成します
	関連する目標指標	一人１日あたりごみ排出量（家庭系の可燃・資源）

令和４年度事務事業　環境管理計画

主な取組の概要	目標値への達成見込	予算額
分別徹底の周知	40% 達成率：100%	—　千円

前年度事務事業の実施により発見した課題等

前年度に限らず、近年の資源物軽量化という全国的な情勢に伴い、リサイクル率が伸び悩み傾向にある。既存のリサイクル量の増加も必要であるが、新規リサイクル方策がないか研究を進めていきたい。

令和4年度事務事業に係る環境影響

有益影響	有害影響
・ごみの減量化 ・ごみ処理施設の負担軽減	・資源物の運搬・処理にかかるエネルギーの使用

想定されるコミュニケーション	コミュニケーションへの対応
・分別に関する問い合わせ	・分別に関する情報提供

令和４年度事務事業　実施結果

	主な取組結果の概要	目標値達成実績
令和2年度	広報の特集号における記事掲載、分別ガイドの一部修正などにより、市民による適正な分別排出を促した。	33.20% 達成率：　83%
令和3年度	広報の特集号における記事掲載、分別ガイドの一部修正などにより、市民による適正な分別排出を促した。	32.30% 達成率：　81%
令和4年度	広報の特集号における記事掲載、分別ガイドの一部修正などにより、市民による適正な分別排出を促した。	31.90% 達成率：　80%

令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等

変更点	―
課題等	新たな資源物の分別処理などの検討

令和４年度事務事業　環境評価

評価区分	評価	判断理由及び内容
担当部課環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	昨年度と比較すると割合は減少しているものの、レジ袋の有料化や企業等による脱プラの動きがさらに促進されており、プラスチックが家庭から排出される機会が減少傾向にあることが、リサイクル率減少の一因になっていると考える。 組成分析を実施し、資源物の混入を確認しているため、今後も啓発は継続していく。
内部環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。 継続的な取り組みと新たな分別処理などの検討によるリサイクル率の向上に期待します。

令和5年度評価　環境管理計画・環境評価調書（令和4年度分）				事業コード	1 — 2 — b
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	廃棄物政策係

個別指標の内容	現状値（年度）	目標値（目標年度）
事業系ごみ排出量	8,336t（H28/2016）	5,145　（ R9/2027 ）

計画体系上の位置付け		
	基本方針	1　地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます
	施策の方針	1－2循環型社会を形成します
	関連する目標指標	一人1日あたりごみ排出量（家庭系の可燃・資源）

令和４年度事務事業　環境管理計画

主な取組の概要	目標値への達成見込	予算額
多量排出事業所への訪問指導、一般廃棄物収集運搬業許可業者向けの講習会の開催、食品ロス削減方策の検討、生ごみ処理機補助の事業所普及促進啓発活動	5,228t 達成率：　98.4　%	—　千円

前年度事務事業の実施により発見した課題等

事業所によって排出されるごみの種類が異なるため、統一した減量化策は難しいと考える。これまで、分別を徹底するよう事業所指導や収集運搬業者に対する講習会を開催したが、焼却施設搬入手数料の見直しを三市・組合で検討する必要がある。

令和4年度事務事業に係る環境影響

有益影響	有害影響
・ごみの減量化 ・ごみ処理施設の負担軽減	—

想定されるコミュニケーション	コミュニケーションへの対応
・事業系ごみに関する問い合わせ	・処理に関する情報提供

令和４年度事務事業　実施結果

	主な取組結果の概要	目標値達成実績
令和2年度	多量排出事業所への訪問指導実施（３０社） 事業者向けのパンフレットの改訂（９月）	7,749t 達成率：66.4%
令和3年度	多量排出事業者への訪問指導実施（５社） 事業者向けのパンフレットの改訂（１月）	8,037t 達成率：64.0%
令和4年度	多量排出事業者への訪問指導実施（２０社） 事業者向けのパンフレットの改訂（８月）	8,331t 達成率：61.7%

令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等

変更点	新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いたため、多量排出事業者への訪問実施指導件数が増加
課題等	食品リサイクル及び、生ごみ処理機の普及啓発方法

令和４年度事務事業　環境評価

評価区分	評価	判断理由及び内容
担当部課環境評価	２：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いたことにより、訪問指導などの対面指導対応の件数を増やすことができた。また、市内事業者へのごみ減量化支援で生ごみ処理機の貸出しを開始した。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着き、経済活動が回復したことにより、事業系ごみ量が増加しているため。一部計画通りの環境配慮を実施できなかったと考える。
内部環境評価	２：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	担当部課評価を支持します。 訪問指導回数の増加は、ごみ排出に対する意識啓発に寄与できたものと考えます。しかし、今後は更に経済活動が活発化することが考えられることから、現行の取組に加えたごみ減量対策を事業者に提案していく必要があると考えます。

令和5年度評価　環境管理計画・環境評価調書（令和4年度分）				事業コード	1 — 2 — c
担当部	財務部	担当課	財産・車両課	担当係	管財係

個別指標の内容	現状値（年度）	目標値（目標年度）
市庁舎におけるごみ排出量	1512.710kg(H30/2018)	1361.439kg　（ R11/2029 ）

計画体系上の位置付け		
	基本方針	1　地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます
	施策の方針	1－2循環型社会を形成します
	関連する目標指標	一人１日あたりごみ排出量（家庭系の可燃・資源）

令和４年度事務事業　環境管理計画

主な取組の概要	目標値への達成見込	予算額
市庁舎ごみゼロ研修の開催（新採用職員向け）年１回	1455.241kg 達成率：前年度目標値1%減	0　千円

前年度事務事業の実施により発見した課題等

研修は新採用職員向けであるため、継続的に取り組む必要があります。また、新型コロナウイルスの流行度合により、市庁舎内の活動抑制ならびに緩和が起きることでごみ排出量の増減に大きく影響を与えています。

令和4年度事務事業に係る環境影響

有益影響	有害影響
・ごみの減量化 ・ごみ処理施設の負担軽減	―

想定されるコミュニケーション	コミュニケーションへの対応
・集積場所の環境状況への苦情	・定期的な収集及び美化清掃

令和４年度事務事業　実施結果

	主な取組結果の概要	目標値達成実績
令和2年度	以下の取組みを通じて廃棄物の削減、再資源化の推進を図り、環境に配慮した持続可能な施設運営に努めました。 ・市庁舎ごみゼロ研修の開催（新採用職員向け）を年２回実施 ・庁内から排出されるごみについては、引き続き分別を徹底し、可能な限りの資源化を図りました（資源化率98.2%）。	1450.72kg 達成率：93.8%
令和3年度	以下の取組みを通じて廃棄物の削減、再資源化の推進を図り、環境に配慮した持続可能な施設運営に努めました。 ・市庁舎ごみゼロ研修の開催（新採用職員向け）を年１回実施（新採用研修科目として） ・庁内から排出されるごみについては、引き続き分別を徹底し、可能な限りの資源化を図りました（資源化率98.3%）。	1469.94kg 達成率：92.6%
令和4年度	以下の取組みを通じて廃棄物の削減、再資源化の推進を図り、環境に配慮した持続可能な施設運営に努めました。 ・市庁舎ごみゼロ研修の開催（新採用職員向け）を年１回実施（新採用研修科目として） ・庁内から排出されるごみについては、引き続き分別を徹底し、可能な限りの資源化を図りました（資源化率97.7%） しかしながら、７月・８月・１０月焼却ごみの排出量が大きく増加し、早急な実態把握の必要がある。	1585.39kg 達成率：85.9%

令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等

変更点	なし
課題等	研修は新採用職員向けであるため、継続的に取り組む必要があります。また、コロナウイルス対策緩和の影響によりごみの排出量が増加した可能性が考えられるため、実態把握に努める必要があります。

令和４年度事務事業　環境評価

評価区分	評価	判断理由及び内容
担当部課環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	庁舎から排出される排出物の減量化、分別徹底により高い資源化率を維持し、環境配慮への取り組みを概ね実施することができた。 しかしながら、ごみの排出量は増加傾向にあったため、実態把握を行い、目標達成に努める。
内部環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課評価の内容を支持します。 コロナ感染拡大が徐々に収束し、市の事業も従来どおりに実施され始めた1年となりましたので、前年度を上回るごみの排出量は致し方ないものと思います。 高い資源化率を維持している点を評価します。 市庁舎から排出されるごみの削減については、職員一人一人が意識していくしかないので、ごみの持ち帰りなどについて、所管課からの全庁的な声掛けをお願いします。

令和5年度評価　環境管理計画・環境評価調書（令和4年度分）				事業コード	1 — 2 — d
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	廃棄物政策係

個別指標の内容	現状値（年度）	目標値（目標年度）
生ごみ処理機設置費補助制度の普及率（補助制度実績）	8.9%（H28/2016）	10%　（ R11/2029 ）

計画体系上の位置付け		
	基本方針	1　地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます
	施策の方針	1－2循環型社会を形成します
	関連する目標指標	一人1日あたりごみ排出量（家庭系の可燃・資源）

令和４年度事務事業　環境管理計画

主な取組の概要	目標値への達成見込	予算額
生ごみ処理機設置費補助制度	10% 達成率：100%	8,986　千円

前年度事務事業の実施により発見した課題等

令和4年度事務事業に係る環境影響

有益影響	有害影響
・ごみの減量化 ・ごみ処理施設の負担軽減	・近隣への悪臭の発生
想定されるコミュニケーション	**コミュニケーションへの対応**
・処理機の使用に伴う苦情	・適切な使用方法の伝達

令和４年度事務事業　実施結果

	主な取組結果の概要	目標値達成実績
令和2年度	広報や自治会回覧での周知のほか、市役所１階での展示会、駅前の三井住友銀行展示スペースでの展示などの取組みを行った。	10% （処理機累計基数/R2.4.1世帯数） 達成率：100%
令和3年度	広報や自治会回覧のほか、駅前の三井住友銀行展示スペースでの展示を行った。 また、YouTube動画にて生ごみ処理機の啓発を行った。	11.9% （処理機累計基数/R2.4.1世帯数） 達成率：119%
令和4年度	広報や自治会回覧のほか、駅前の三井住友銀行展示スペースでの展示を行った。 新型コロナウイルス感染拡大でブース出展等ができてなかったコミセン祭りに参加啓発を行った。 非電動式生ごみ処理機の補助上限を引き上げた。	9.16% （処理機累計基数/R4.4.1世帯数） 達成率：91.6%

令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等

変更点	非電動式生ごみ処理機の補助上限を２万円から２万５千円に引き上げた。
課題等	

令和４年度事務事業　環境評価

評価区分	評価	判断理由及び内容
担当部課環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	継続して行っていた啓発に加えて、新型コロナウイルス実施できていなかったコミセン祭りでの啓発を再開できたことや、情勢に合わせて生ごみ処理機の制度を改正することができたため、おおむね計画通りの環境配慮を実施できたと考える。
内部環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。 対象者の特徴をとらえた周知方法について、今後も工夫して取り組み、更なる普及促進を進めていくことを期待します。

【令和５年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート（令和４年度分）	
目標指標 （目標値（年度））	令和４年度実績
一人１日あたりごみ排出量（家庭系の可燃・資源） （650g（令和9年度））	５５１ｇ

〇上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。

〇記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。

〇記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。

〇生ごみ処理機設置費補助金活用の申込が多数寄せられている。（電動式177件、非電動式47件）

〇より多くの方に補助金を周知できるよう、自由通路デジタルサイネージでの啓発や、三井住友銀行のショーウインドーでの生ごみ処理機の展示を行った。

〇非電動式の補助金の上限額を２万円から２万５千円に引き上げた。

【令和５年度評価】外部評価シート（令和４年度分）

基本方針	施策の方針
１　地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます	３　緑・水・生きものと共生します

目標指標		令和４年度実績
（現状値（年度））	（目標値（年度））	
生き物とのふれあいに対する意識（環境アンケート：地域の生きものとのふれあいについて良い、やや良いと回答した人の割合）		アンケート実施なし
４８．２％（平成３０年度）	５０．０％（令和１１年度）	

個別指標	担当部課評価	内部評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
自然緑地保全区域面積・樹木数	2	2	指定解除の相談が増えており、今年度についても保全区域・保存樹木ともに指定解除をしたため一部計画通り実施できなかったと判断する。
緑化に関する情報の発信回数	3	3	「緑化ポスターコンクール」を実施することができ、海老名中央公園で表彰式を行うことで多くの人へ緑化について発信することができた。
生物多様性に関する情報の発信回数	4	3	えびな生き物大調査においては、多くの参加をいただき、エントランスホールへの展示や、調査報告書の学校への配布等、当初予定以上の普及啓発が実施できたため、計画を上回る環境配慮を実施できたと判断する。

外部評価	
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。

判断理由及び評価内容

・自然緑地の全区域面積・樹木数の目標数値は樹木の老化、所有者の事情に影響され、市の努力で対応することは、難しいと思います。指定解除の相談があったときの対応が重要です、目標の見直しをお勧めします。

・「えびな生きもの大調査」は良い企画と思います。報告書もしっかりとまとめられ、良いできです。特に温暖化の影響により、温暖な地域に住むツマグロチョウモンが２件、ナガサキアゲハが１件の発見があったことを具体的に記述したところは評価できます。

・上記の結果総合的に3と判断します。

令和5年度評価　環境管理計画・環境評価調書（令和4年度分）				事業コード	1 — 3 — a
担当部	まちづくり部	担当課	都市施設公園課	担当係	総務係

個別指標の内容	現状値（年度）	目標値（目標年度）
自然緑地保全区域面積・樹木数	150626.16㎡/193本 (R1/2019)	150000.00㎡/193本　（ R11/2029 ）

計画体系上の位置付け		
	基本方針	1　地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます
	施策の方針	1－3緑・水・生きものと共生します
	関連する目標指標	生き物とのふれあいに対する意識（環境アンケート：地域の生きものとのふれあいについて良い、やや良いと回答した人の割合）

令和４年度事務事業　環境管理計画

主な取組の概要	目標値への達成見込	予算額
多様な機能を有する緑の保全のため、自然緑地保全区域・自然緑地保存樹木を指定し、奨励金の交付を実施	144,500.00㎡／185本 達成率：　96.1　%	6,796　千円

前年度事務事業の実施により発見した課題等

樹木自体が高齢化しており、枯死・滅失が増加している。また、ほとんどの緑地や樹木がすでに指定されているため、新規の指定が困難である。

令和4年度事務事業に係る環境影響

有益影響	有害影響
・森林資源の保護 ・温室効果ガス吸収作用の保全創造	・近隣の日照時間の減少 ・落葉等のゴミの増加

想定されるコミュニケーション	コミュニケーションへの対応
・樹木からの落葉による苦情 ・樹木を剪定伐採したことによる景観上の苦情	・生活環境と景観に配慮した管理方法の周知

令和４年度事務事業　実施結果

	主な取組結果の概要	目標値達成実績
令和2年度	自然緑地保全区域等所有者に対する交付実績 ・自然緑地保全区域　９７件　5,422,865円 ・自然緑地保存樹木　１７９件　714,000円 ・保存生垣　３４件　235,600円	143,979.36/150,000 186/193本 達成率：９６　%
令和3年度	自然緑地保全区域等所有者に対する交付実績 ・自然緑地保全区域　９２件　5,284,735円 ・自然緑地保存樹木　１７１件　682,000円 ・保存生垣　３０件　198,600円	143,776.36/150,000 175/193本 達成率：９４　%
令和4年度	自然緑地保全区域等所有者に対する交付実績 ・自然緑地保全区域　９１件　5,286,340円 ・自然緑地保存樹木　１７０件　674,000円 ・保存生垣　２５件　173,600円	140,529.36/150,000 172/193本 達成率：９２　%

令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等

変更点	特になし
課題等	区域や樹木の所有者の高齢化により、相続による売却や管理困難による指定解除の相談が増加している。

令和４年度事務事業　環境評価

評価区分	評価	判断理由及び内容
担当部課環境評価	2:一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	上記課題等のとおり、指定解除の相談が増えており、今年度についても保全区域・保存樹木ともに指定解除をしたため。
内部環境評価	2:一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	担当部課環境評価の内容を支持します。 目標達成率の低下はやむを得ない状況も理解できますので、目標値の設定や代替案についての検討をお願いします。

令和5年度評価　環境管理計画・環境評価調書（令和4年度分）				事業コード	1 — 3 — b
担当部	まちづくり部	担当課	都市施設公園課	担当係	総務係

個別指標の内容	現状値（年度）	目標値（目標年度）
緑化に関する情報の発信回数	2回（R1/2019）	3回　（ R11/2029 ）

計画体系上の位置付け		
	基本方針	1　地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます
	施策の方針	1－3緑・水・生きものと共生します
	関連する目標指標	生き物とのふれあいに対する意識（環境アンケート：地域の生きものとのふれあいについて良い、やや良いと回答した人の割合）

令和４年度事務事業　環境管理計画

主な取組の概要	目標値への達成見込	予算額
緑化ポスターコンクール、さつき展等の事業に関する情報を広報等に掲載	3 達成率：　100%	0　千円

前年度事務事業の実施により発見した課題等

事業が実施できない情勢になった場合、他の情報発信を検討する必要がある。

令和4年度事務事業に係る環境影響

有益影響	有害影響
・緑を保全・育成する意識の向上	―

想定されるコミュニケーション	コミュニケーションへの対応
・緑化手法に関する問い合わせ	・適切な緑化手法の周知 ・緑化に係る補助制度の情報提供

令和４年度事務事業　実施結果

	主な取組結果の概要	目標値達成実績
令和2年度	例年、小中学生に対して夏休みの宿題として「花と緑の写真コンクール」及び「緑化ポスターコンクール」を行っていたが、コロナ禍であったため実施をしなかった。 さつき展等のイベントにおいてはコロナ禍であるため開催を見送った。	― 達成率：　－　%
令和3年度	小学生の夏休みの宿題として「緑化ポスターコンクール」を行い、応募や受賞者の紹介などを広報で情報発信するとともに、その他、ＨＰにて緑化に係る発信を行った。 なお、「花と緑の写真コンクール」及び「さつき展」は開催しなかった。	3 達成率：　100　%
令和4年度	小学生の夏休みの宿題として「緑化ポスターコンクール」を行い、応募や受賞者の紹介などを広報で情報発信するとともに、表彰式を海老名中央公園にて行った。 また、「さつき展」は３年ぶりに５月30日、31日に開催することができた。	3 達成率：　100　%

令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等

変更点	緑化ポスターコンクール表彰式を海老名中央公園にて実施した。
課題等	特になし

令和４年度事務事業　環境評価

評価区分	評価	判断理由及び内容
担当部課環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	「緑化ポスターコンクール」を実施することができ、海老名中央公園で表彰式を行うことで多くの人へ緑化について発信することができた。
内部環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、イベント開催が困難な時期が続きましたが、３年ぶりにさつき展を開催できるなど、イベントを通した緑化啓発を再開することができたと思います。引き続き、啓発活動の継続をお願いします。

令和5年度評価　環境管理計画・環境評価調書（令和4年度分）				事業コード	1 — 3 — c
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係

個別指標の内容	現状値（年度）	目標値（目標年度）
生物多様性に関する情報の発信回数	3回（R1/2019）	6回　（ R11/2029 ）

計画体系上の位置付け		
	基本方針	1　地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます
	施策の方針	1－3緑・水・生きものと共生します
	関連する目標指標	生き物とのふれあいに対する意識（環境アンケート：地域の生きものとのふれあいについて良い、やや良いと回答した人の割合）

令和４年度事務事業　環境管理計画

主な取組の概要	目標値への達成見込	予算額
・ホームページによる情報の発信 ・窓口でのチラシの配架	4 達成率：　66.6%	0　千円

前年度事務事業の実施により発見した課題等

小学生を中心とした「生きもの大調査」を実施し、多くの参加者が生物多様性の重要性を学ぶ良い機会になったと考えます。継続していくことで、生息情報の蓄積に努めていきます。

令和4年度事務事業に係る環境影響

有益影響	有害影響
・生物多様性を保全する意識の向上	―

想定されるコミュニケーション	コミュニケーションへの対応
・生物多様性の保全手法に関する問い合わせ	・適切な生物多様性の保全手法の周知

令和４年度事務事業　実施結果

	主な取組結果の概要	目標値達成実績
令和2年度	・特定外来生物（ヒアリ・セアカゴケグモ・オオキンケイギク）に関する周知をホームページで実施しました。 ・市内の生物調査の実施に向けた調査研究を行いました。	３回 達成率：　50　%
令和3年度	・特定外来生物（ヒアリ・セアカゴケグモ・オオキンケイギク）に関する周知をホームページで実施しました。 ・「えびな生きもの大調査」を実施し、小学生を中心に231名の参加がありました。 　調査結果をエントランスホールに展示するとともに、調査報告書に取りまとめ、ホームページ等で公開したほか、市内小学校の各クラスに配布しました。	４回 達成率：66.6　%
令和4年度	・特定外来生物（ヒアリ・セアカゴケグモ・オオキンケイギク）に関する周知をホームページで実施しました。 ・「えびな生きもの大調査」を実施し、小学生を中心に145名の参加がありました。 　調査結果をエントランスホールに展示するとともに、調査報告書に取りまとめ、ホームページ等で公開したほか、市内小学校の各クラスに配布しました。	４回 達成率：66.6　%

令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等

変更点	なし。
課題等	えびな生き物大調査への参加者をさらに増やしていくための手法について研究を進めます。

令和４年度事務事業　環境評価

評価区分	評価	判断理由及び内容
担当部課環境評価	４：計画を上回る環境配慮を実施できた。	えびな生き物大調査について、多くの参加をいただき、エントランスホールへの展示や、調査報告書の学校への配布等、当初予定以上の普及啓発が実施できたため、計画を上回る環境配慮を実施できたと判断します。
内部環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	計画通りの環境配慮を実施できているため、一部担当部課環境評価の内容を支持します。　なお、生き物大調査については、参加者を増やすことより、当該事業の意義をより多くの方へ伝わるようにするための発信方法という観点で課題意識を持った方が良いように思います。

【令和５年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート（令和４年度分）	
目標指標 （目標値（年度））	令和４年度実績
生き物とのふれあいに対する意識（環境アンケート：地域の生きものとのふれあいについて良い、やや良いと回答した人の割合） 50.0%（令和11年度））	アンケートの実施なし
○上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。 ○記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。 ○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。	
○「えびな生きもの大調査」を実施し、小学生を中心に145名の参加がありました。 　調査結果をエントランスホールに展示するとともに、調査報告書に取りまとめ、ホームページ等で公開したほか、市内小学校の各クラスに配布しました。 ○市民が市内生物たちと楽しく安全に触れ合えるよう（主に河川）、水質の汚濁に日頃から気を配り、触れ合いやすい環境づくりに取り組みました。	

【令和５年度評価】外部評価シート（令和４年度分）				
基本方針			施策の方針	
２　健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します			１　水環境を守ります	
目標指標			令和４年度実績	
（現状値（年度））	（目標値（年度））			
河川水質環境基準達成状況			問題なし	
問題なし （平成３０年度）	問題なし （令和１１年度）			
個別指標		担当部課評価	内部評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
水洗化率		3	3	目標値は横ばいであるが、助成金の交付を通し、概ね環境への配慮は達成できたと判断する。
公共下水道の普及率		4	4	下水道ＰＲの広報掲載等を実施し、目標値を上回ることができたと判断する。
水循環に関する情報の発信回数		3	3	計画通りに市民に対して情報発信ができた。
外部評価				
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			
判断理由及び評価内容				
施策の方針として１．水環境を守りますとして、３つの施策が展開されています。各項目とも概ね計画達成であり評価「３」としたい。また、河川の臭気や水が濁っていないかを確認し、異常時にも対応できるよう日々心掛けて業務に専念していることや、現場確認した状況はリストで管理し、チェックできるようにしているなど、地道な工夫も見られた点はプラス評価したい。				

令和5年度評価　環境管理計画・環境評価調書（令和4年度分）				事業コード	2 — 1 — a
担当部	まちづくり部	担当課	下水道課	担当係	業務係

個別指標の内容	現状値（年度）	目標値（目標年度）
水洗化率	98.2%（H30/2018）	100%　（ R11/2029 ）

計画体系上の位置付け		
	基本方針	２　健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します
	施策の方針	２－１水環境を守ります
	関連する目標指標	河川水質環境基準達成状況

令和４年度事務事業　環境管理計画

主な取組の概要	目標値への達成見込	予算額
・適切な水洗化手法の周知 ・水洗化に係る補助制度の情報提供	98.4%（0.2%増） 達成率：98.4%	3,963 千円

前年度事務事業の実施により発見した課題等

カラーマンホールの設置やマンホールカードの配布、また、下水道のPR記事を広報に掲載する等を実施したものの、達成率の増加には繋がらなかった。達成率の増加につながる方法の検討が必要。

令和4年度事務事業に係る環境影響

有益影響	有害影響
・水質保全 ・生活環境の改善	・水洗化工事による廃棄物の増加

想定されるコミュニケーション	コミュニケーションへの対応
・水洗化手続きに関する問い合わせ	・適切な水洗化手法の周知 ・水洗化に係る補助制度の情報提供

令和４年度事務事業　実施結果

	主な取組結果の概要	目標値達成実績
令和2年度	○水洗便所改造等助成金の交付 ・件　数　36件 ・助成金　1,080,000円（一人あたり30,000円） ○取組実績 ・パンフレットの配布 ・ホームページへ掲載	98.3% 達成率：98.3%
令和3年度	○水洗便所改造等助成金の交付 ・件　数　20件 ・助成金　600,000円（一人あたり30,000円） ○取組実績 ・パンフレットの配布 ・ホームページへ掲載	98.3% 達成率：98.3%
令和4年度	○水洗便所改造等助成金の交付 ・件　数　20件 ・助成金　600,000円（一人あたり30,000円） ○取組実績 ・パンフレットの配布 ・ホームページへ掲載 ・助成案内を対象者へ通知	98.4 達成率：98.4%

令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等

変更点	助成対象者のほかに、３年の助成期限を過ぎた方についての周知を重点的に行った。
課題等	達成率（水洗化率）が98%を超え、横ばい状態となっている。下水道事業のPRの見直しを検討する。

令和４年度事務事業　環境評価

評価区分	評価	判断理由及び内容
担当部課環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	目標値は横ばいであるが、助成金の交付を通し、概ね環境への配慮は達成できたと判断します。
内部環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。達成率は、横ばいであるが98%を超えており、概ね環境への配慮は達成できていると評価できます。また、水洗化率向上のため、助成期限を過ぎた対象者へ再度周知を行うなど、取り組みについても評価できます。

令和5年度評価　環境管理計画・環境評価調書（令和4年度分）				事業コード	2 — 1 — b
担当部	まちづくり部	担当課	下水道課	担当係	管路施設係

個別指標の内容	現状値（年度）	目標値（目標年度）
公共下水道の普及率	95.9%（H30/2018）	100%　（ R11/2029 ）

計画体系上の位置付け		
	基本方針	２　健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します
	施策の方針	２－１水環境を守ります
	関連する目標指標	河川水質環境基準達成状況

令和４年度事務事業　環境管理計画

主な取組の概要	目標値への達成見込	予算額
・迅速な工事の実施	96.3%（0.4%増） 達成率：96.3%	371,715 千円

前年度事務事業の実施により発見した課題等

なし

令和4年度事務事業に係る環境影響

有益影響	有害影響
・水質保全 ・生活環境の改善	・下水道工事による廃棄物の増加

想定されるコミュニケーション	コミュニケーションへの対応
・下水道工事に関する苦情	・迅速な工事の実施 ・工事内容の丁寧な説明

令和４年度事務事業　実施結果

主な取組結果の概要		目標値達成実績
令和2年度	○取組実績 ・市街化区域の公共下水道汚水管渠の埋設工事 ・市街化調整区域の公共下水道汚水管渠の埋設工事 ・公共下水道汚水桝設置の申し出に基づく、設置工事 ・公共下水道汚水管渠整備を実施するための詳細設計委託	96.2% 達成率：96.2%
令和3年度	○取組実績 ・市街化区域の公共下水道汚水管渠の埋設工事 ・市街化調整区域の公共下水道汚水管渠の埋設工事 ・公共下水道汚水桝設置の申し出に基づく、設置工事	96.2% 達成率：96.2%
令和4年度	○取組実績 ・市街化調整区域の公共下水道汚水管渠の埋設工事 ・公共下水道汚水桝設置の申し出に基づく、設置工事 ・公共下水道汚水管渠整備を実施するための詳細設計委託	96.4% 達成率：96.4%

令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等

変更点	なし
課題等	下水道整備についての住民理解のため、丁寧な説明、更なる下水道ＰＲが必要である。

令和４年度事務事業　環境評価

評価区分	評価	判断理由及び内容
担当部課環境評価	４：計画を上回る環境配慮を実施できた。	下水道ＰＲの広報掲載等を実施し、目標値を上回ることができたと判断します。
内部環境評価	４：計画を上回る環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価を支持します。 着実に進捗実績を上げた点は評価できます。引き続き公共下水道の普及に努めていただきたいと思います。

令和5年度評価　環境管理計画・環境評価調書（令和4年度分）				事業コード	2 — 1 — c
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係

個別指標の内容	現状値（年度）	目標値（目標年度）
水循環に関する情報の発信回数	1回（R1/2019）	3回　（ R11/2029 ）

計画体系上の位置付け		
	基本方針	2　健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します
	施策の方針	2－1水環境を守ります
	関連する目標指標	河川水質環境基準達成状況

令和４年度事務事業　環境管理計画

主な取組の概要	目標値への達成見込	予算額
河川の水質調査結果について、広報えびな等にて情報発信	2回 達成率：　50%	1,632　千円

前年度事務事業の実施により発見した課題等

河川ごとの特性を理解することは重要であるため、市内の水環境の周知を引き続き行う必要があります。

令和4年度事務事業に係る環境影響

有益影響	有害影響
・水環境の保全意識の向上	―

想定されるコミュニケーション	コミュニケーションへの対応
・水環境の保全手法に関する問い合わせ	・適切な水環境の保全手法の周知

令和４年度事務事業　実施結果

	主な取組結果の概要	目標値達成実績
令和2年度	・河川の水質調査結果を広報えびなに掲載し、市内の水質状況の周知を図りました。 ・市が参加している「高座地区河川をきれいにする会」の会報誌に市内河川の水質状況を掲載し周知を図りました。	2回 達成率：50%
令和3年度	・環境調査結果として「広報えびな」に河川の水質調査結果を掲載することで、市民に対して市内の水質状況の周知を図りました。 ・「高座地区河川をきれいにする会」の会報誌に、市内の河川水質状況を掲載し周知を図りました。	2回 達成率：50%
令和4年度	・環境調査結果として「広報えびな」に河川の水質調査結果を掲載することで、市民に対して市内の水質状況の周知を図りました。 ・「高座地区河川をきれいにする会」の会報誌に、市内の河川水質状況を掲載し周知を図りました。	2回 達成率：50%

令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等

変更点	特になし。
課題等	広報えびな及び高座地区河川をきれいにする会会報誌以外での周知方法の検討。

令和４年度事務事業　環境評価

評価区分	評価	判断理由及び内容
担当部課環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	広報えびな及び高座地区河川をきれいにする会会報誌での情報発信を実施できたため、概ね計画どおりの環境配慮が実施できたと評価します。
内部環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価を支持します。 水環境の保全意識向上のためのさらなる取り組みを期待します。

【令和５年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート（令和４年度分）	
目標指標 （目標値（年度））	令和４年度実績
河川水質環境基準達成状況 （問題なし（令和11年度））	問題なし

〇上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。

〇記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。

〇記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。

〇河川の水質は、河川事故によって汚濁されてしまうため、河川事故があった際は迅速かつ正確に対応をしている。特に油が河川に流入し油膜が流れている時は、オイルフェンスを設置することで下流への影響を抑え、塞き止めた油はオイルマットを用いて吸着作業をしている。

〇現場へ行き河川の近くを通る際は、河川の臭気や水が濁っていないかを確認し、異常時にも対応できるよう日々心掛けて業務に専念している。また、現場確認した状況はリストで管理し、チェックできるようにしている。

令和４年度事業外部評価シート				
基本方針			施策の方針	
２　健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します			２　生活環境を守ります	
目標指標			令和４年度実績	
（現状値（年度））	（目標値（年度））			
公害・環境に関する相談件数			４８件	
６４件 （平成３０年度）	５０件 （令和１１年度）			
個別指標	担当部課評価	内部評価	目標指標進捗に関する所管課コメント	
大気環境基準達成状況	3	3	市内21箇所で窒素酸化物簡易測定調査を行い、また、大気汚染（屋外焼却行為）等に対する苦情相談に関しても迅速な対応及び状況に応じた指導を行ったため、概ね計画どおりの環境配慮が実施できたと評価する。	
コミュニティバス利用者数	3	3	本年度においては、新型コロナ感染症対策の緩和等もあり、利用者が増加しました。事業計画に基づき例年通りの運行を行ったことから、一定の環境配慮ができたと考える。	
騒音に関する相談件数	3	3	相談ごとに迅速な対応を行い、問題解決に向けて適切に取り組んだ。	
外部評価				
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			
判断理由及び評価内容				
１．「大気環境基準達成状況」では今後も屋外焼却行為の苦情対応に改善の必要あるもののほぼ計画通りに出来たと思われます。（評価３） ２．「コミュニティバス利用者数」では、利用者増も見られ今後の利用促進の課題はあるものの計画通りに達成できたと思われます。（評価３） ３．「騒音に関する相談件数」では騒音苦情件数も減少傾向で推移しており今後苦情分析と対策検討が求められるものの計画通り達成できたと思われます。（評価３） 上記1～３の結果、総合的に評価３と判断します。				

令和5年度評価　環境管理計画・環境評価調書（令和4年度分）				事業コード	2 — 2 — a
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係

個別指標の内容	現状値（年度）	目標値（目標年度）
大気環境基準達成状況	達成（H30/2018）	達成　（ R11/2029 ）

計画体系上の位置付け		
	基本方針	2　健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します
	施策の方針	2－2生活環境を守ります
	関連する目標指標	公害・環境に関する相談件数

令和４年度事務事業　環境管理計画

主な取組の概要	目標値への達成見込	予算額
市内21箇所で実施している窒素酸化物簡易測定調査	基準値達成 達成率：　—　%	935　千円

前年度事務事業の実施により発見した課題等

光化学スモッグの発生が複数回あり、今年度においても発生する可能性があります。
迅速かつ適切な対応を行うため、日頃から職員間で対応方法の周知を徹底することが重要だと考えます。

令和4年度事務事業に係る環境影響

有益影響	有害影響
・生活環境の保全	—

想定されるコミュニケーション	コミュニケーションへの対応
・空気汚染に関する公害苦情	・迅速な現場対応 ・環境基準等の丁寧な説明

令和４年度事務事業　実施結果

	主な取組結果の概要	目標値達成実績
令和2年度	・窒素酸化物簡易測定、ダイオキシン類分析調査を行いました。 ・大気汚染（屋外燃焼行為等）による悪臭等の苦情・相談に対し、原因者への指導を実施しました（発生件数37件）。 ・光化学スモッグの発生に備えて、発生時の情報伝達訓練を実施しました（発生件数０件）。	基準値達成 達成率：　－　%
令和3年度	・窒素酸化物簡易測定、ダイオキシン類分析調査を行いました。 ・大気汚染（屋外燃焼行為等）による悪臭等の苦情・相談に対し、原因者への指導を実施しました（発生件数27件）。 ・光化学スモッグの発生に備えて、発生時の情報伝達訓練を実施しました（発生件数３件）。	基準値達成 達成率：　－　%
令和4年度	・窒素酸化物簡易測定、ダイオキシン類分析調査を行いました。 ・大気汚染（屋外燃焼行為等）による悪臭等の苦情・相談に対し、原因者への指導を実施しました（発生件数33件）。 ・光化学スモッグの発生に備えて、発生時の情報伝達訓練を実施しました（発生件数　1件）。	基準値達成 達成率：　－　%

令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等

変更点	特になし。
課題等	県の条例で例外的に認められている屋外焼却行為に対しても苦情が一定数あり、苦情者に理解を得ることが難しい。

令和４年度事務事業　環境評価

評価区分	評価	判断理由及び内容
担当部課環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	市内21箇所で窒素酸化物簡易測定調査を行いました。 また、大気汚染（屋外焼却行為）等に対する苦情相談を受け、迅速な対応及び状況に応じた指導を行ったため、概ね計画どおりの環境配慮が実施できたと評価します。
内部環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。 課題については、起因者に対する相談も含めていることもあるかと思いますので、相談者に対して寄り添った対応と理解を得られるよう今後も期待します。

令和5年度評価　環境管理計画・環境評価調書（令和4年度分）				事業コード	2 — 2 — b
担当部	まちづくり部	担当課	都市計画課	担当係	交通政策係

個別指標の内容	現状値（年度）	目標値（目標年度）
コミュニティバス利用者数	257,237人（H30/2018）	259,150人　（ R11/2029 ）

計画体系上の位置付け		
	基本方針	2　健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します
	施策の方針	2－2生活環境を守ります
	関連する目標指標	公害・環境に関する相談件数

令和４年度事務事業　環境管理計画

主な取組の概要	目標値への達成見込	予算額
公共交通不便地域に対してコミュニティバスを運行する。また、利用状況等を市ＨＰや車内等において周知を図る。	236,470人 達成率：91.2%	49,236　千円

前年度事務事業の実施により発見した課題等

・コミュニティバス車内における感染症対策の周知
・行動変容に伴う輸送人員の減少

令和4年度事務事業に係る環境影響

有益影響	有害影響
・自動車からの利用転換による排気ガスの抑制	・排気ガスの排出 ・ガソリンの使用

想定されるコミュニケーション	コミュニケーションへの対応
・コミュニティバスの運行状況に関する問い合わせ ・苦情	・適切な運行状況の説明

令和４年度事務事業　実施結果

	主な取組結果の概要	目標値達成実績
令和2年度	温室効果ガスの削減を目標に、コミュニティバスの利用促進に繋がる情報発信等に努めました。 ○　市ＨＰ等情報発信回数：１２回	175,266 達成率：67.6%
令和3年度	温室効果ガスの削減を目標に、コミュニティバスの利用促進に繋がる情報発信等に努めました。 ○　市ＨＰ等情報発信回数：１２回	205,195 達成率：79.2%
令和4年度	温室効果ガスの削減を目標に、コミュニティバスの利用促進に繋がる情報発信等に努めました。 ○　市ＨＰ等情報発信回数：１２回	247,905 達成率：95.7%

令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等

変更点	特に無し
課題等	特に無し

令和４年度事務事業　環境評価

評価区分	評価	判断理由及び内容
担当部課環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	本年度においては、新型コロナ感染症対策の緩和等もあり、利用者が増加しました。しかしながら、事業計画に基づき例年通りの運行を行ったことから、一定の環境配慮がなされたと考えます。
内部環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課評価を支持します。 社会的な要因が達成率に大きく影響を与える項目であると考えますが、情報発信が重要な要素となっていると思われます。今後は公共交通機関の減少による市民のニーズが増加することが予想されるので、より多くの方へコミュニティバスの情報が届くことを期待します。

令和5年度評価　環境管理計画・環境評価調書（令和4年度分）				事業コード	2 — 2 — c
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係

個別指標の内容	現状値（年度）	目標値（目標年度）
騒音に関する相談件数	22件（H30/2018）	22件　（ R11/2029 ）

計画体系上の位置付け		
	基本方針	２　健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します
	施策の方針	２－２生活環境を守ります
	関連する目標指標	公害・環境に関する相談件数

令和４年度事務事業　環境管理計画

主な取組の概要	目標値への達成見込	予算額
事業所から発せられる騒音苦情相談に伴う相談者への聞き取り及び事業所への指導	10件 達成率：　—　%	0　千円

前年度事務事業の実施により発見した課題等

前年度に比べ件数は減少しましたが、増加する可能性も十分に考えられるため、引き続き適切な対応を行っていきます。

令和4年度事務事業に係る環境影響

有益影響	有害影響
・生活環境の保全	—

想定されるコミュニケーション	コミュニケーションへの対応
・騒音に関する公害苦情	・迅速な現場対応 ・騒音基準等の丁寧な説明

令和４年度事務事業　実施結果

主な取組結果の概要		目標値達成実績
令和2年度	市民からの相談を詳細に聞き取り、騒音規制法に基づき現場対応を行いました。また、適切に届出がされているかの確認及び、騒音規制法に基づく指導を実施しました。	17件 達成率：　－　%
令和3年度	騒音規制法及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例の基準に基づき現場対応を行い、状況に応じて適切な指導等を実施しました。 また、建設・解体工事における苦情においては、騒音規制法に該当する機械を使用している場合には適切に届出が提出されているかの確認を徹底しました。	８件 達成率：　－　%
令和4年度	騒音規制法及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例の基準に基づき現場対応を行い、状況に応じて適切な指導等を実施しました。 また、建設・解体工事における苦情においては、騒音規制法に該当する機械を使用している場合には適切に届出が提出されているかの確認を徹底しました。	１６件 達成率：　－　%

令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等

変更点	特になし。
課題等	規制基準以下の音であっても、騒音と感じる音の大きさは人によって異なるため苦情に繋がることが多く、課として対応に苦慮する場合がある。

令和４年度事務事業　環境評価

評価区分	評価	判断理由及び内容
担当部課環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	騒音苦情を受け迅速に現場対応を行い、苦情者の不安要素解消のために日々職務に邁進したため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと評価します。
内部環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	騒音苦情の対応を迅速に対応していることから、環境配慮ができていると評価します。 しかしながら件数は増加していることから、事前の指導の徹底など騒音苦情相談の件数を減らすための取り組みに努めてください。

【令和５年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート（令和４年度分）	
目標指標 （目標値（年度））	令和４年度実績
公害・環境に関する相談件数 （50件（令和11年度））	４８件

〇上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。

〇記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。

〇記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。

〇屋外焼却行為（野焼き）の苦情件数が多く、苦情の中には条例で例外として認められている農家による屋外焼却行為も多く含まれている。
　近年海老名市は人口が少しずつ増加しており、屋外焼却行為の存在を知らずに転居してくる人も多いため、条例で例外的に認められていると説明しても苦情を申し立てる人も一定数存在する。
　そこで、両者が気を使いつつも円満に日常生活を営んでもらうため、農協を通じて農家に対し屋外焼却行為の注意喚起回覧を令和２年度から回している。この回覧を引き続き続けることにより、屋外焼却行為の苦情件数の減少を図る。

〇過去に苦情を受けた現場付近を通るときは、時間があれば気にかけて見るようにしている。そうすることで、苦情再発の可能性の有無を確認できたり、再度苦情申立てがあっても苦情者との話しの相違を減らすことができる。

【令和５年度評価】外部評価シート（令和４年度分）				
基本方針			施策の方針	
３　″えびならしさ″を守り、育み、将来に引き継ぎます			１　都市環境を整備します	
目標指標			令和４年度実績	
（現状値（年度））	（目標値（年度））			
これからも海老名市に住みたいか（市政アンケート：ずっと住みたい、できれば住み続けたいと回答した人の割合）			アンケート実施なし	
９０．３％ （令和元年度）	９０．３％ （令和１１年度）			
個別指標	担当部課評価	内部評価	目標指標進捗に関する所管課コメント	
道路整備への満足度（市政アンケート：幹線・生活道路の整備に満足・やや満足と回答した人の割合）	3	3	当初予定していた道路整備工事が概ね予定どおりに工事を進められたことや、工事受注業者に環境配慮型建設機械を使用させたことから、概ね計画どおりの環境配慮を実施できたと判断する。	
美化推進員のポイ捨て、路上喫煙巡回日数	3	3	巡回日数は大きく変わりはないものの、市民通報に対する個別対応を継続し、柔軟な対応を継続できたため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断する。	
えびなクリーン作戦参加者累計数	3	3	新型コロナウイルスの感染対策を講じ、事業を実施することができたため概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断する。	
外部評価				
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			
判断理由及び評価内容				

・工事受注者に環境配慮型建設機械を使用させたことは評価できます。

・予定通りの日程で、巡回を行ったこと。通報を受けて、張り込みなど指導方法を工夫して、156件の指導を行ったことは、評価できます。

・3年ぶりに実施した「クリーン大作戦」を実施した結果が、「令和4年度事務事業　実施結果」欄の記述内容だけでは良かった点や、課題が見えません。これらが、分かる記述をして下さい。令和4年度の達成数値にも誤りがあります。

・上記の結果総合的に3と判断します。

令和5年度評価　環境管理計画・環境評価調書（令和4年度分）				事業コード	3 — 1 — a
担当部	まちづくり部	担当課	道路整備課	担当係	幹線道路係

個別指標の内容	現状値（年度）	目標値（目標年度）
道路整備への満足度（市政アンケート：幹線・生活道路の整備に満足・やや満足と回答した人の割合）	34.3%（R1/2019）	35.1%　（R11/2029）

計画体系上の位置付け		
	基本方針	3　″えびならしさ″を守り、育み、将来に引き継ぎます
	施策の方針	3－1都市環境を整備します
	関連する目標指標	これからも海老名市に住みたいか（市政アンケート：ずっと住みたい、できれば住み続けたいと回答した人の割合）

令和４年度事務事業　環境管理計画

主な取組の概要	目標値への達成見込	予算額
道路環境の整備によって、渋滞の解消と、近隣住民の住環境の向上を図る。	市政アンケート実施なし 達成率：%（市政アンケート実施なし）	1,252,200　千円

前年度事務事業の実施により発見した課題等

特になし。

令和4年度事務事業に係る環境影響

有益影響	有害影響
・渋滞解消による排気ガスの抑制 ・路面舗装による粉塵、砂埃の抑制	・道路工事による廃棄物の増加

想定されるコミュニケーション	コミュニケーションへの対応
・道路工事に関する苦情	・迅速な工事の実施 ・工事内容の丁寧な説明

令和４年度事務事業　実施結果

	主な取組結果の概要	目標値達成実績
令和2年度	幹線・準幹線道路および生活道路の整備を行い、渋滞の解消による排気ガスの抑制、路面舗装による粉塵・砂埃の抑制、近隣住民の住環境の向上を図った。 ・工事件数　16件 ・工事総延長　1859m	達成率：　%
令和3年度	幹線・準幹線道路及び生活道路の整備を行い、自動車の走行速度向上させ、自動車からの排出ガスの減少並びに近隣住民の住環境の向上を図った。 又、工事で使用する建設機械について、機械施工が大気環境に与える負担の低減を図るため、工事受注者に低騒音、低振動及び排出ガス対策型建設機械を可能な限り使用させた。 ・工事件数　5件 ・工事完成延長　600m	41.5% 達成率：120.3%
令和4年度	幹線・準幹線道路及び生活道路整備を行い、また、市道６２号線延伸道路、並木橋歩車道分離整備により、交通の利便性を向上させ、自動車等の排出ｶガスの減少並びに近隣住民の住環境の向上を図った。 工事で使用する建設機械については、機械施工が大気環境に与える負担の軽減を図るため、工事受注者に低騒音、低振動及び排出ガス対策型建設機械を可能な限り使用させた。 ・工事件数　15件 ・工事完成延長　1256m	市政アンケート実施無し 達成率：市政アンケート実施無し

令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等

変更点	特になし
課題等	特になし

令和４年度事務事業　環境評価

評価区分	評価	判断理由及び内容
担当部課環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	当初予定していた道路整備工事が概ね予定どおりに工事を進められたことや、工事受注業者に環境配慮型建設機械を使用させたことから、概ね計画どおりの環境配慮を実施できたと判断します。 今後も幹線道路・準幹線道路及び生活道路の整備により道路ネットワークを充実させ、近隣住民の住環境の向上に取り組みます。
内部環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課評価の内容を支持します。 道路整備工事が概ね予定どおりに進捗していること、工事受注業者に環境配慮型建設機械を使用させたことは高く評価できます。令和４年度は市政アンケートを実施しない年でしたが、令和３年度の目標値達成実績が41.5%であり、目標年度（R11年度）の目標値35.1%に対する達成度が120.3%となっています。目標年度に向けて達成度の更なる向上を期待します。

令和5年度評価　環境管理計画・環境評価調書（令和4年度分）				事業コード	3 — 1 — b
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	廃棄物政策係

個別指標の内容	現状値（年度）	目標値（目標年度）
美化推進員のポイ捨て、路上喫煙巡回日数	292日（H30/2018）	292日　（ R11/2029 ）

計画体系上の位置付け		
	基本方針	３　″えびならしさ″を守り、育み、将来に引き継ぎます
	施策の方針	３－１都市環境を整備します
	関連する目標指標	これからも海老名市に住みたいか（市政アンケート：ずっと住みたい、できれば住み続けたいと回答した人の割合）

令和４年度事務事業　環境管理計画

主な取組の概要	目標値への達成見込	予算額
美化推進員による公共的な場所（歩道など）の清掃活動および巡回、注意啓発	294日 達成率：100.7　％	2,932　千円

前年度事務事業の実施により発見した課題等

喫煙所外で喫煙する方や、電子タバコ専用喫煙所でルールを守らない方を指導することが多かった。喫煙所内にポスターを掲示する等、利用者のマナーを徹底させるような対策を検討していきたい。

令和4年度事務事業に係る環境影響

有益影響	有害影響
・生活環境の保全 ・景観の向上	―

想定されるコミュニケーション	コミュニケーションへの対応
・ポイ捨て等に関する苦情	・巡回時の周知啓発の徹底

令和４年度事務事業　実施結果

	主な取組結果の概要	目標値達成実績
令和2年度	予定通りの日程で巡回を行った。 巡回指導により指導件数が減少した。 令和２年度合計：　３８件 令和元年度合計：１２６件	293日 達成率：100%
令和3年度	予定通りの日程で巡回を行った。 通報を受けての張り込みなど指導方法を工夫したため、指導件数が増加した。 令和４年度合計：１５５件 令和２年度合計：　３８件	292日 達成率：100%
令和4年度	予定通りの日程で巡回を行った。 市民からの通報を受けての張り込みなどの指導方法を継続し、指導件数を維持した。 令和４年度合計：１５６件 令和３年度合計：１５５件	293日 達成率：100%

令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等

変更点	―
課題等	喫煙所外で喫煙や加熱式たばこ限定の喫煙所での紙巻きたばこの喫煙に関する通報が寄せられており、細かく指導を実施する必要がある。

令和４年度事務事業　環境評価

評価区分	評価	判断理由及び内容
担当部課環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	巡回日数は大きく変わりはないものの、市民通報に対する個別対応を継続し、柔軟な対応を継続できたため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断する。
内部環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課評価の内容を支持します。 予定どおりの日程で巡回を行い、市民からの通報に対して個別・柔軟に対応できたことは高く評価できます。短期的には難しいものと思いますが、より効果的な啓発活動の導入と市民及び来街者の意識改善により、将来的には巡回の必要性が低下することを期待します。

令和5年度評価　環境管理計画・環境評価調書（令和4年度分）				事業コード	3 — 1 — c
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	廃棄物政策係

個別指標の内容	現状値（年度）	目標値（目標年度）
えびなクリーン作戦参加者累計数	4,800人（R1/2019）	5,000人　（ R11/2029 ）

計画体系上の位置付け		
	基本方針	３　″えびならしさ″を守り、育み、将来に引き継ぎます
	施策の方針	３－１都市環境を整備します
	関連する目標指標	これからも海老名市に住みたいか（市政アンケート：ずっと住みたい、できれば住み続けたいと回答した人の割合）

令和４年度事務事業　環境管理計画

主な取組の概要	目標値への達成見込	予算額
年に一度、一斉美化活動を主催する	4,900人 （H31までの累計。令和２・３年度中止。） 進捗率：98%	―　千円

前年度事務事業の実施により発見した課題等

前々年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策を踏まえて、事業実施についてどのように進めていくかを考える必要がある。
また、ごみを集めるために人が終結したり、ごみ自体に感染リスクがあることも踏まえて、実施の検討を行う必要がある。

令和4年度事務事業に係る環境影響

有益影響	有害影響
・生活環境の保全 ・まちの美化意識の向上	―

想定されるコミュニケーション	コミュニケーションへの対応
・実施方法に関する相談・要望	・綿密な事前調整

令和４年度事務事業　実施結果

	主な取組結果の概要	目標値達成実績
令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い事業中止	中止 達成率：0%
令和3年度	新型コロナウイルス感染症再拡大に伴い事業中止	中止 達成率：0%
令和4年度	有馬小学校区で開催（１９５人参加）	4,995人 達成率：99.9%

令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等

変更点	新型コロナウイルスの感染拡大のため中止となっていたが実施した。
課題等	次回開催学区及び、開催方法

令和４年度事務事業　環境評価

評価区分	評価	判断理由及び内容
担当部課環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	新型コロナウイルスの感染拡大により、近年中止となっていたが、新型コロナウイルスの感染拡大状況や、感染対策の実施により、実施することができたため概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断する。
内部環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課評価の内容を支持します。 ３年ぶりにクリーン作戦が開催できたこと、また、参加者累計数が目標年度における目標値を越えたことは高く評価できます。クリーン作戦はまちの美化が図られることはもとより、市民の美化意識の醸成につながる効果的な啓発活動だと認識します。感染症対策を講じたうえで、引き続き開催されることを期待します。

【令和５年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート（令和４年度分）	
目標指標 （目標値（年度））	令和４年度実績
これからも海老名市に住みたいか（市政アンケート：ずっと住みたい、できれば済み続けたいと回答した人の割合） （90.0%（令和11年度））	アンケート実施なし
○上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。 ○記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。 ○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。	
○新型コロナウイルス感染症拡大により一時は喫煙者自体が減っていたものの、最近では慣れもあり、喫煙者自体が増加し、市の喫煙所からはみ出しての喫煙者が増加したことから、指導を強化。特定の時間帯における張り込みなどの対応により以前よりも指導効果を高めるよう努めた。 ○路上喫煙に関する苦情や情報提供が寄せられる機会が多く、得られた情報から、喫煙所だけでなく、巡回ルートの中で張り込みも行った。	

【令和５年度評価】外部評価シート（令和４年度分）				
基本方針			施策の方針	
３　″えびならしさ″を守り、育み、将来に引き継ぎます			２　農業地を守ります	
目標指標			令和４年度実績	
（現状値（年度））	（目標値（年度））			
農地面積			４９２ha	
５２６ha （平成３０年度）	５２６ha （令和１１年度）			
個別指標	担当部課評価	内部評価	目標指標進捗に関する所管課コメント	
農作業受委託面積	4	4	昨年度より受託面積が増加しており目標値以上に取り組めていると判断する。しかしながら、営農組合作業従事者の高齢化により、目標数値を毎年度上回ることは厳しい状況である。	
市民農園利用者数	3	3	紙媒体を削減することを意識し、ホームページの内容・更新頻度を充実させるなど、環境に配慮した手法で利用率の向上を図った。	
農業体験イベント参加者数	3	3	コロナ禍、一部イベントが中止になったが、その他のイベントについては感染症予防対策を徹底し、イベントを実施することができた。	
外部評価				
4	計画を上回る環境配慮を実施できた。			
判断理由及び評価内容				
「２　農業地を守ります」の施策方針のもと、３つの個別指標が展開されています。各指標とも、概ね達成しています。また、農業体験イベント参加者数など、R3年度は、芋ほり、R4年度はトマトの収穫など年度ごとに取組を変えてきており取組に工夫がみられる点を評価して、「４」としたい。				

令和5年度評価　環境管理計画・環境評価調書（令和4年度分）				事業コード	3 — 2 — a
担当部	経済環境部	担当課	農政課	担当係	農業振興係

個別指標の内容	現状値（年度）	目標値（目標年度）
農作業受委託面積	32ha（H30/2018）	32ha　（ R11/2029 ）

計画体系上の位置付け		
	基本方針	３　″えびならしさ″を守り、育み、将来に引き継ぎます
	施策の方針	３－２農業地を守ります
	関連する目標指標	農地面積

令和４年度事務事業　環境管理計画

主な取組の概要	目標値への達成見込	予算額
市内営農組合による水稲作における稲刈り等の受託作業	32ha 達成率：　100　%	5,862　千円

前年度事務事業の実施により発見した課題等

南部ライスセンター内の農業用機械の破損や消耗が激しく、保守点検や修理費用が必要となっており、計画的な機械の入れ替えが必要と思われる。

令和4年度事務事業に係る環境影響

有益影響	有害影響
・農地の荒廃の抑制	・作業に伴う廃棄物の排出 ・車両の使用による排気ガスの排出

想定されるコミュニケーション	コミュニケーションへの対応
・農作業受委託に関する相談	・円滑な農作業受委託に向けた指導

令和４年度事務事業　実施結果

	主な取組結果の概要	目標値達成実績
令和2年度	中部営農組合、南部営農組合及び南部農業拠点施設による稲刈り、乾燥籾摺り等の水稲作作業の受託。	32ha 達成率：　100　%
令和3年度	農地が荒廃することを抑制するための手法の一つとして市内営農組合が農作業を受託され、事業を実施している。中部営農組合、南部営農組合及び南部農業拠点施設による稲刈り、乾燥籾摺り等の水稲作農作業の受託。	35ha 達成率：　109　%
令和4年度	農地が荒廃することを抑制するため、中部営農組合、南部営農組合が稲刈り、乾燥籾摺り等の水稲作農作業を受託した。	35.87ha 達成率：　112　%

令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等

変更点	特になし
課題等	南部農業拠点施設に設置されている農業用機械は、施設開設から10年以上が経過し老朽化が進んでいることから、計画的な機械の更新が必要と考えている。また、今後、営農組合農作業従事者の高齢化により、担い手不足が懸念される。

令和４年度事務事業　環境評価

評価区分	評価	判断理由及び内容
担当部課環境評価	４：計画を上回る環境配慮を実施できた。	昨年度より受託面積が増加しており目標値以上に取り組めていると判断できるが、営農組合作業従事者の高齢化により、目標数値を毎年度上回ることは厳しい状況である。
内部環境評価	４：計画を上回る環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。 委託事業は目標値以上の達成実績となっており、評価できます。農業用機械の老朽化や営農組合農作業従事者の高齢化などの今後の懸念事項に対しても計画的な取り組みに努めていただきたい。

令和5年度評価　環境管理計画・環境評価調書（令和4年度分）				事業コード	3 — 2 — b
担当部	経済環境部	担当課	農政課	担当係	農業振興係

個別指標の内容	現状値（年度）	目標値（目標年度）
市民農園利用者数	479人（R1/2019）	580人　（ R11/2029 ）

計画体系上の位置付け		
	基本方針	３　″えびならしさ″を守り、育み、将来に引き継ぎます
	施策の方針	３－２農業地を守ります
	関連する目標指標	農地面積

令和４年度事務事業　環境管理計画

主な取組の概要	目標値への達成見込	予算額
地権者から借りた畑又は市所有の畑を市内在住者に廉価で貸し出す。	525 達成率：　90.5　％	4,575　千円

前年度事務事業の実施により発見した課題等

利用者の多くが高齢者であり、ホームページによる情報提供には限界があるため、紙媒体での通知や掲示物が増えてしまった。

令和4年度事務事業に係る環境影響

有益影響	有害影響
・遊休農地、耕作放棄地の減少	・市民農園整備にかかる廃棄物の増加
想定されるコミュニケーション	**コミュニケーションへの対応**
・市民農園利用者のマナー違反による苦情	・迅速な現場対応

令和４年度事務事業　実施結果

	主な取組結果の概要	目標値達成実績
令和2年度	雑草繁茂・区画外利用などの苦情に対し、速やかな現場確認、関係者への通知、連絡及び掲示物による利用者への周知を行った。	４９９人 達成率：100.8　％
令和3年度	雑草繁茂・区画外利用などの苦情に対し、速やかな現場確認、関係者への通知、連絡及び掲示物による利用者への周知を行い、利用者減を予防した。また、利用者の増加を図るため、ホームページの空き状況の更新頻度を継続して行った。	514人 達成率：　88.6　％
令和4年度	雑草繁茂・区画外利用などの苦情に対し、速やかな現場確認、関係者への通知、連絡及び掲示物による利用者への周知を行った。また、利用者の増加を図るため、ホームページの空き状況の更新頻度を継続して行った。県道整備に伴う用地買収により面積が減少する農園について、区画の配置を工夫するなど区画変更を行い、区画数の減少を最小限に抑えた。	518人 達成率：89.3%

令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等

変更点	特になし
課題等	利用者の多くが高齢者であり、ホームページによる情報提供だけでは十分とはいえないため、紙媒体での通知や掲示物が必要な状況である。今後、ホームページに代わる電子媒体での周知方法について検討する必要がある。

令和４年度事務事業　環境評価

評価区分	評価	判断理由及び内容
担当部課環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	紙媒体を削減することを意識し、ホームページの内容・更新頻度を充実させるなど、環境に配慮した手法で利用率の向上を図った。
内部環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部環境評価の内容を支持します。 苦情対応などに迅速な対応を行い、ホームページを活用するなど環境に配慮した対応ができており、評価できます。利用者の増加に伴う多様性に対応できるよう、電子媒体での周知方法を模索していただきたい。

令和5年度評価　環境管理計画・環境評価調書（令和4年度分）				事業コード	3 — 2 — c
担当部	経済環境部	担当課	農政課	担当係	地産地消推進係

個別指標の内容	現状値（年度）	目標値（目標年度）
農業体験イベント参加者数	2,700人（R1/2019）	3,000人　（ R11/2029 ）

計画体系上の位置付け		
	基本方針	３　”えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます
	施策の方針	３－２農業地を守ります
	関連する目標指標	農地面積

令和４年度事務事業　環境管理計画

主な取組の概要	目標値への達成見込	予算額
トマト、梨等のもぎ取り及びラッカセイ、さつまいも等の掘り取りを実施します。	3,000 人 達成率：100%	468 千円

前年度事務事業の実施により発見した課題等

特になし

令和4年度事務事業に係る環境影響

有益影響	有害影響
・農業に対する理解の促進 ・地域の農業従事者・農作物に対する理解の促進	―

想定されるコミュニケーション	コミュニケーションへの対応
・イベント実施に関する問い合わせ	・丁寧なイベント内容の周知

令和４年度事務事業　実施結果

主な取組結果の概要		目標値達成実績
令和2年度	・ラッカセイの掘り取り 令和２年９月27日（日）９：00～11：00　中新田地区　300人参加 ・さつまいもの掘り取り 令和２年10月18日（日）９：00～11：30　大谷地区　350人参加	650人 達成率：21.7%
令和3年度	・さつまいもの掘り取り 令和３年10月24日（日）９：00～11：30　大谷地区　1,000人参加	1,000人 達成率：33.3%
令和4年度	・とまとのもぎ取り 令和４年５月22日(日)　８：55～11:00　大谷地区　1,000人参加 ・ラッカセイの掘り取り 令和４年９月25日(日)　９：00～12:00　中新田地区　300人参加	1,300人 達成率：43.3%

令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等

変更点	圃場の混雑状況を見ながら入場に時間差をつけて実施した。
課題等	定植・栽培管理を担っている生産者団体が高齢化しているため、今後も同規模のイベントを実施していくことが難しくなることが想定されるため、新たな担い手確保やイベントの実施内容について検討する必要がある。

令和４年度事務事業　環境評価

評価区分	評価	判断理由及び内容
担当部課環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、一部イベントが中止になったが、その他のイベントについては感染症予防対策を徹底し、イベントを実施することができた。
内部環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部環境評価の内容を支持します。 新型コロナウイルス感染症予防のためイベントが思うように実施できない中、政策方針に基づき事業を進めており、評価できます。生産者団体が高齢化しているため、感染対策は継続的に留意いただき、今後も継続的な事業に取り組んでいただきたい。

【令和５年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート（令和４年度分）	
目標指標 （目標値（年度））	令和４年度実績
農地面積 （526ha（令和11年度））	４９２ha

〇上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。

〇記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。

〇記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。

①有害鳥獣捕獲等業務委託事業
　有害鳥獣による生活環境及び農業被害を防ぎ、市民生活の安定を図る為、アライグマとハクビシンを対象に捕獲及び駆除する業務を委託事業として実施している。
今後も捕獲及び駆除の必要性は続くものと思われ、継続して取り組んでいきたい。
　依頼件数・・６６件
　駆除頭数・・５８頭

②農機具貸し出し事業
　農業従事者の農業用機械取得の負担軽減を図る目的で、市で所有している農業用機械（トラクタ、田植機、水稲コンバイン、汎用コンバイン）の貸出しを有料で行っている。今後も事業を継続していきたい。
　利用農業者・・延べ６６名
　利用日数・・・延べ７７日

③用排水路等維持管理委託事業
　農業用水通水前をはじめ、市内の農業用用排水路の浚渫及び草刈等の維持管理を各地区の生産組合に委託し行っている。
　委託期間・・４月１日～２月２８日
　委託金額・・１９生産組合計５，１９２，０００円

④海老名市農業振興対策事業
　農畜産業の経営の安定と発展を図るため、その事業を行うものに対し、予算の範囲内で補助金を交付している。その中でも農用地営農事業及び農用地利用集積事業については、農用地内において営農を行う農業者等に対して、申請に基づき補助金を交付しています。
　令和４年度実績
　　交付決定件数・・３６２件
　　補助金額・・・・１７，３５２，１００円

令和４年度事業外部評価シート				
基本方針			施策の方針	
３　″えびならしさ″を守り、育み、将来に引き継ぎます			３　地域資源を守ります	
目標指標			令和４年度実績	
（現状値（年度））	（目標値（年度））			
自然景観への満足度（環境アンケート：相模川や農地などの自然景観が良い、やや良いと回答した人の割合）			アンケートの実施なし	
７４．９％ （平成３０年度）	７５．０％ （令和１１年度）			
個別指標	担当部課評価	内部評価	目標指標進捗に関する所管課コメント	
郷土資料館・歴史資料収蔵館来館者数	3	3	温故館・歴史資料収蔵館の来館者数はコロナ禍であったにもかかわらず増加させることができた。引き続き多くの方に来館していただけるように取り組む。	
歴史関連イベント・講座参加者数	3	3	令和２年度に比べてイベントの参加者が増加することができたため、継続して多くの方に参加していただけるように取り組む。	
外部評価				
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			
判断理由及び評価内容				
１．郷土資料館・歴史資料収蔵館来館者数」では、来館者数あるいは市民に市の歴史に関する理解の促進の為の調査は必要であるものの着実に来館者増もあり、計画通りと思われる。（評価３） ２．「歴史関連イベント・講座参加者数」では、参加者数の増減があるものの「あそびのひろば」や「ＶＲ体験会」などイベントの実施も計画通りできていると思われます。（評価３） 上記1～２の結果、総合的に評価３と判断します。				

令和5年度評価　環境管理計画・環境評価調書（令和4年度分）				事業コード	3 — 3 — a
担当部	教育部	担当課	教育総務課	担当係	文化財係

個別指標の内容	現状値（年度）	目標値（目標年度）
郷土資料館・歴史資料収蔵館来館者数	11,176人（H30/2018）	11,500人　（ R11/2029 ）

計画体系上の位置付け		
	基本方針	３　″えびならしさ″を守り、育み、将来に引き継ぎます
	施策の方針	３－３　地域資源を守ります
	関連する目標指標	自然景観への満足度（環境アンケート：相模川や農地などの自然景観が良い、やや良いと回答した人の割合）

令和４年度事務事業　環境管理計画

主な取組の概要	目標値への達成見込	予算額
温故館では企画展等を開催する。 歴史資料収蔵館では歴史資料を整理し閲覧可能資料を増やし、公開する。	8,614 達成率：　74.9　%	16,397　千円

前年度事務事業の実施により発見した課題等

令和4年度事務事業に係る環境影響

有益影響	有害影響
・市の歴史に関する理解の促進	—

想定されるコミュニケーション	コミュニケーションへの対応
・施設運営に関する問い合わせ・苦情	・適切な施設運営の実施

令和４年度事務事業　実施結果

	主な取組結果の概要	目標値達成実績
令和2年度	温故館では、企画展「えびなの観音さま」や相模国分寺跡指定100周年記念事業の展示を実施。民具の動画配信も行った。 歴史資料収蔵館では歴史資料を整理し閲覧可能資料の公開に向けた業務を実施。	4,771人 達成率：41%
令和3年度	約１年を通して相模国分寺跡指定100周年記念記念展示を実施。また、館内でＶＲ視聴ができるよう機材を設置（まん延防止措置等発令中は不可）。 歴史資料収蔵館では歴史資料を整理し閲覧可能資料の公開に向けた業務を実施。	8,142人 達成率：70%
令和4年度	温故館では、収蔵品展「中世びとの祈りの形」や市登録有形文化財として初となる高札の特別公開などを開催した。。 歴史資料収蔵館では歴史資料を整理、公開に努め、歴史資料収蔵館収蔵品目録第２集を刊行した。	9,376人 達成率：82%

令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等	
変更点	特になし
課題等	特になし

令和４年度事務事業　環境評価

評価区分	評価	判断理由及び内容
担当部課環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	温故館・歴史資料収蔵館の来館者数はコロナ禍であったにもかかわらず増加しているため。 引き続き多くの方に来館していただけるように取り組んでいきたい。
内部環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。 新型コロナウイルスの影響により、事業の企画・運営等で苦労されたことと推察されますが、来館者数も増えており、次年度以降の取り組みにも期待します。

令和5年度評価　環境管理計画・環境評価調書（令和4年度分）				事業コード	3 — 3 — b
担当部	教育部	担当課	教育総務課	担当係	文化財係

個別指標の内容	現状値（年度）	目標値（目標年度）
歴史関連イベント・講座参加者数	319人（H30/2018）	456人　（ R11/2029 ）

計画体系上の位置付け		
	基本方針	３　″えびならしさ″を守り、育み、将来に引き継ぎます
	施策の方針	３−３地域資源を守ります
	関連する目標指標	自然景観への満足度（環境アンケート：相模川や農地などの自然景観が良い、やや良いと回答した人の割合）

令和４年度事務事業　環境管理計画

主な取組の概要	目標値への達成見込	予算額
文化財講演会及び文化財ガイドを開催する。 夏休み体験講座を実施する。	273 達成率：　59.8　%	276　千円

前年度事務事業の実施により発見した課題等

令和4年度事務事業に係る環境影響

有益影響	有害影響
・市の歴史に関する理解の促進	—

想定されるコミュニケーション	コミュニケーションへの対応
・イベント実施に関する問い合わせ	・丁寧なイベント内容の周知

令和４年度事務事業　実施結果

	主な取組結果の概要	目標値達成実績
令和2年度	文化財講演会及び文化財ガイドを実施。また、奈良時代の相模国分寺を復元したCG動画を公開した。 相模国分寺跡指定100周年記念講演会・VR体験等は中止とした。	167人 達成率：　37%
令和3年度	相模国分寺跡指定100周年記念事業として、講演会及び文化財ガイドを実施。また、奈良時代の相模国分寺を復元したＶＲ体験会を実施した。 まが玉作り、矢じり作り等の体験講座は中止とした。	306人 達成率：　67%
令和4年度	文化財講演会及び文化財ガイド、夏休み体験講座を人数を縮小してではあるが開催することができた。 また、昨年度に引き続き奈良時代の国分寺を復元したVR体験会を実施した。	276人 達成率：61%

令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等

変更点	相模国分寺跡にて空気遊具などで子どもたちが遊べるように「あそびのひろば」を実施した。
課題等	新型コロナウイルスの規制が緩和されたが不特定多数参加のイベントについては実施方法等には検討していきたい。

令和４年度事務事業　環境評価

評価区分	評価	判断理由及び内容
担当部課環境評価	３、おおむね計画通りの環境配慮を実施できた。	令和2年度に比べてイベントの参加者が増加することができたため、継続して多くの方に参加していただけるように取り組んでいきたい。
内部環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。 新型コロナウイルスの感染状況により、イベントの開催方法の工夫や縮小などが求められた中、昨年度より参加者数が増えていることを評価します。新型コロナウイルス感染症も５類となり、今後は規制が緩和された中での開催となりますので、次年度以降の取り組みに期待します。

【令和５年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート（令和４年度分）	
目標指標 （目標値（年度））	令和４年度実績
自然景観への満足度（環境アンケート：相模川や農地などの自然景観が良い、やや良いと回答した人の割合） （75.0%（令和11年度））	アンケートの実施なし
○上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。 ○記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。 ○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。	
○景観条例や住みよいまちづくり条例に基づいて、民間等による開発・建築行為における良質な景観の維持・保全を図りました。	

【令和５年度評価】外部評価シート（令和４年度分）

基本方針	施策の方針
４　みんなでえびなの環境を考え、行動します	１　環境を考え、行動します

目標指標		令和４年度実績
（現状値（年度））	（目標値（年度））	
環境への関心度（環境アンケート：以前と比べて関心度合いが高くなったと回答した人の割合）		アンケートの実施なし
４３．５％ （平成３０年度）	４８．０％ （令和１１年度）	

個別指標	担当部課評価	内部評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
環境関連情報発信回数	3	3	新たな情報発信を行い環境に関する発信回数が増えたことにより、市民の環境問題に対する理解の促進が図れたため概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断する。
啓発・出前講座参加者数	3	3	出前講座の申込がなかった。令和３年度に新たな啓発方法として開始した、動画等を活用した啓発活動も継続したため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断する。
海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数	3	3	登録団体の減少がみられるものの、コロナ禍による活動中止が減少し、各団体の活動が活発になったと考えられるため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断する。
海老名市地域緑化事業への登録団体数	3	3	前年度から登録団体が１団体増えたことで、市民に対する緑化への関心を更に広げることができた。

外部評価	
2	一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。

判断理由及び評価内容

①水質・大気等公害に関するデータは、市民も関心をもっており大切なデータです。広報えびな(令和4年6月1日号の、水質・大気の数値と、「えびな環境白書2022」のデータに齟齬が見られます。一貫性のある情報の発信が求められます。

②広報えびなでの省エネルギー月間についての記事は、小さくて効果は限定的と思います。市のFacebook「えびなデイズ」等SNSを使って、広報されてはいかがでしょうか。

③「生きもの大調査」や「えびなSDGｓ環境マイレージ」に関する情報発信は良いと思います。

①の重要性を鑑みて2と判断します。

令和5年度評価　環境管理計画・環境評価調書（令和4年度分）				事業コード	4 — 1 — a
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係

個別指標の内容	現状値（年度）	目標値（目標年度）
環境関連情報発信回数	5回（H30/2018）	8回　（ R11/2029 ）

計画体系上の位置付け		
	基本方針	4　みんなでえびなの環境を考え、行動します
	施策の方針	4－1環境を考え、行動します
	関連する目標指標	環境への関心度（環境アンケート：以前と比べて関心度合いが高くなったと回答した人の割合）

令和４年度事務事業　環境管理計画

主な取組の概要	目標値への達成見込	予算額
・光化学スモッグ及びアイドリングストップ等の環境関連情報を広報えびな等にて発信 ・環境啓発イベントを通じた環境情報の発信	6回 達成率：　75%	—　千円

前年度事務事業の実施により発見した課題等

前年度に比べ発信回数を増加させることができたため、今後も引き続き継続していきたいと思います。

令和4年度事務事業に係る環境影響

有益影響	有害影響
・環境問題に対する理解の促進	—

想定されるコミュニケーション	コミュニケーションへの対応
・環境情報に関する問い合わせ	・丁寧な環境情報周知の徹底

令和４年度事務事業　実施結果

	主な取組結果の概要	目標値達成実績
令和2年度	・広報えびなで光化学スモッグによる注意喚起やアイドリングストップの励行に関する記事を掲載しました。	3回 達成率：　37.5%
令和3年度	・広報えびなで新たに省エネルギー月間についての記事を掲載しました。 ・「生きもの大調査」や「えびなSDGｓ環境マイレージ」に関する情報発信を行いました。	6回 達成率：　75%
令和4年度	・広報えびなで新たに省エネルギー月間についての記事を掲載しました。 ・「生きもの大調査」や「えびなSDGｓ環境マイレージ」に関する情報発信を行いました。	7回 達成率：　87.5%

令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等

変更点	広報えびなで新たにSDGｓについての特集記事を掲載し、また、生きもの大調査やえびなSDGｓ環境マイレージについての情報発信を行いました。
課題等	目標値達成のための、情報発信回数増加の検討。

令和４年度事務事業　環境評価

評価区分	評価	判断理由及び内容
担当部課環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	新たな情報発信を行い環境に関する発信回数が増えたことにより、市民の環境問題に対する理解の促進が図れたため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断します。
内部環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。 令和３年度に引き続き、令和４年度も情報発信回数を増やすことができたことは評価できます。今後も、市民の環境問題に対する理解の促進を図るために事業を継続されることを期待します。

令和5年度評価　環境管理計画・環境評価調書（令和4年度分）				事業コード	4 — 1 — b
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	廃棄物政策係

個別指標の内容	現状値（年度）	目標値（目標年度）
啓発・出前講座参加者数	645人（H30/2018）	710人　（ R11/2029 ）

計画体系上の位置付け		
	基本方針	４　みんなでえびなの環境を考え、行動します
	施策の方針	４－１環境を考え、行動します
	関連する目標指標	環境への関心度（環境アンケート：以前と比べて関心度合いが高くなったと回答した人の割合）

令和４年度事務事業　環境管理計画

主な取組の概要	目標値への達成見込	予算額
小学校や事業所、集合住宅へ赴き、ごみの分別方法等の出前講座を行う	達成率：　　％	千円

前年度事務事業の実施により発見した課題等

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、出前講座等は実施出来なかったため、YouTubeを活用に分別啓発動画を投稿した。今後、動画内容の随時修正や更新が必要と考える。

令和4年度事務事業に係る環境影響

有益影響	有害影響
・環境問題に対する理解の促進	―
想定されるコミュニケーション	**コミュニケーションへの対応**
・講座等実施に関する問い合わせ	・丁寧な講座等内容の周知

令和４年度事務事業　実施結果

	主な取組結果の概要	目標値達成実績
令和2年度	要望に応じて２回の出前講座を開催した。 ７月：中新田連合自治会 ８月：今泉小学校	151名 達成率：21.3%
令和3年度	開催なし	0 達成率：0.0%
令和4年度	開催なし	0 達成率：0.0%

令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等

変更点	―
課題等	作成した動画等の学校等での活用方法。

令和４年度事務事業　環境評価

評価区分	評価	判断理由及び内容
担当部課環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	出前講座の申込がなかった。令和３年度に新たな啓発方法として開始した、動画等を活用した啓発活動も継続したため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断する。（現在１５本の動画がYouTubeで公開されている）
内部環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。 令和３年度、４年度は、コロナのため出前講座の開催はなかったが、新たな活用方法としてYouTubeによる啓発活動を行っていることは評価できます。担当課の課題にも挙げられていますが、今後は学校等での活用方法を検討されることを期待します。

令和5年度評価　環境管理計画・環境評価調書（令和4年度分）				事業コード	4 — 1 — c
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	廃棄物政策係

個別指標の内容	現状値（年度）	目標値（目標年度）
海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数	56団体（H29/2017）	56団体　（ R11/2029 ）

計画体系上の位置付け		
	基本方針	4　みんなでえびなの環境を考え、行動します
	施策の方針	4－1環境を考え、行動します
	関連する目標指標	環境への関心度（環境アンケート：以前と比べて関心度合いが高くなったと回答した人の割合）

令和４年度事務事業　環境管理計画

主な取組の概要	目標値への達成見込	予算額
不特定多数が使用する公共用地等の美化活動に奨励金を交付する	53団体 達成率：　94.6%	1,272　千円

前年度事務事業の実施により発見した課題等

登録団体に対して、活動をする際に使用する袋を配布している。その袋に対して、登録団体から仕様に対する要望があったため、より要望に沿った袋を配布できるよう検討していきたい。

令和4年度事務事業に係る環境影響

有益影響	有害影響
・生活環境の保全 ・まちの美化意識の向上	―

想定されるコミュニケーション	コミュニケーションへの対応
・実施方法に関する相談・要望	・綿密な事前調整

令和４年度事務事業　実施結果

	主な取組結果の概要	目標値達成実績
令和2年度	５３団体がきれいなまちづくり事業の団体登録を行った。	53団体 達成率：94.6%
令和3年度	４８団体がきれいなまちづくり事業の団体登録を行った。	48団体 達成率：85.7%
令和4年度	４６団体がきれいなまちづくり事業の団体登録を行った。	46団体 達成率：82.1%

令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等

変更点	―
課題等	団体登録を継続しない団体が増えている点

令和４年度事務事業　環境評価

評価区分	評価	判断理由及び内容
担当部課環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	登録団体の減少がみられるものの、新型コロナウイルス感染拡大による活動中止が減少し、各団体の活動が活発になったと考えられるため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断する。
内部環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。 登録団体の減少はみられますが、登録団体の活動を支援するために要望に沿った袋を配布するなどの取り組みは評価できます。取り組みを継続することで、登録団体を増やしていけることを期待します。

令和5年度評価　環境管理計画・環境評価調書（令和4年度分）				事業コード	4 — 1 — d
担当部	まちづくり部	担当課	住宅公園課（住宅まちづくり課）	担当係	まちづくり支援係

個別指標の内容	現状値（年度）	目標値（目標年度）
海老名市地域緑化事業への登録団体数	19団体（R1/2019）	19団体　（ R11/2029 ）

計画体系上の位置付け		
	基本方針	4　みんなでえびなの環境を考え、行動します
	施策の方針	4－1環境を考え、行動します
	関連する目標指標	環境への関心度（環境アンケート：以前と比べて関心度合いが高くなったと回答した人の割合）

令和４年度事務事業　環境管理計画

主な取組の概要	目標値への達成見込	予算額
市内における地域緑化の推進のため、地域の緑化事業を行う団体が実施する緑地等整備事業及び緑地等管理事業に要する経費に対して補助金の交付を実施	17団体 進捗率：　89.5　％	575　千円

前年度事務事業の実施により発見した課題等

特になし

令和4年度事務事業に係る環境影響

有益影響	有害影響
・緑を保全・育成する意識の向上	―

想定されるコミュニケーション	コミュニケーションへの対応
・緑化手法に関する問い合わせ	・適切な緑化手法の周知

令和４年度事務事業　実施結果

主な取組結果の概要		目標値達成実績
令和2年度	補助金交付実績　１６件　457,000円	16/19団体 達成率：84.2%
令和3年度	補助金交付実績　１７件　502,000円	17/19団体 達成率：89.5%
令和4年度	補助金交付実績　１８件　508,000円	18/19団体 達成率：94.7%

令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等

変更点	特になし
課題等	団体数を増やす為に、地域緑化事業補助金制度の更なる周知が必要

令和４年度事務事業　環境評価

評価区分	評価	判断理由及び内容
担当部課環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	前年度から登録団体が１団体増えたことで、市民に対する緑化への関心を更に広げることができたため。
内部環境評価	３：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課評価の内容を支持します。 地域緑化事業補助制度の登録団体が増えたことは高く評価できます。目標値の達成まで、さらに１団体の登録が必要です。補助制度とともに、根本的な地域緑化の必要性を広く訴求するなど、工夫を凝らした周知活動の実施により、目標年度前の目標値達成を期待します。

【令和５年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート（令和４年度分）	
目標指標 （目標値（年度））	令和４年度実績
環境への関心度（環境アンケート：以前と比べて関心度合が高くなったと回答した人の割合） （48.0%（令和11年度））	アンケートの実施なし
○上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。 ○記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。 ○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。	
○啓発・出前講座参加数については、令和４年度は新型コロナウイルス感染症の影響が令和３年度よりも少なかったが、学校等からの依頼がなく、０件ではあった。今後この情勢が続くことも考え、YouTubeによる動画投稿による啓発を継続した。	

資料２

事業系一般廃棄物処理手数料の条例改正について

令和５年５月２３日に諮問し、同年７月２７日に答申をいただきました事業系一般廃棄物処理手数料の見直しに関する内容につきまして、同年８月２９日に開催された海老名市議会令和５年第３回定例会に以下の内容で上程し、議決されましたので報告させていただきます。

１　上程及び議決内容

別表第１に定めている事業系一般廃棄物処理手数料のうち、市が収集、運搬及び処分する場合の処理手数料を削除する。

（改正前）

種別	取扱区分	処理手数料
事業系一般廃棄物	市が、市長が承認したものを収集、運搬及び処分するとき。	１キログラムにつき４２円

（改正後）

種別	取扱区分	処理手数料
事業系一般廃棄物		

２　改正理由

令和５年７月２７日の環境審議会においても、事業系一般廃棄物の上限規定を削除することに関する意見をいただき、その上で答申をいただきました。

その内容を踏まえて改正内容の検討を進めている際に、環境省が公表している廃棄物の処理及び清掃に関する法律の疑義に関する内容において「**市町村が処理していない一般廃棄物の処理手数料を、条例で定めることができない。**」ことが示されていることを確認しました。

上記内容と、**市直営では事業系一般廃棄物の収集、運搬及び処分を現時点では行っていない**ことから、当該規定を削除する判断をしました。